

令和 3 年度

**健康づくりセンター管理運営業務報告書
(事業報告書)**

札幌市健康づくりセンター指定管理者
一般財団法人札幌市スポーツ協会

目次

・事業実施状況

I 指定管理事業	2
1 健康増進事業（中央）	2
2 利用促進事業	3
3 運動指導事業	3
4 利用勧奨事業	5
5 女性フレッシュ健診（中央）	5
6 健康増進に関する情報の収集・提供	5
7 その他センターの設置目的を達成するために実施する事業	6
II 受託事業	6
1 健診関係	6
2 事業関係	7
III 自主事業	7
1 健康づくり活動の支援事業	7
2 派遣事業（中央・西）	10
3 地域コミュニティ支援事業	10
4 研修事業	11
5 その他	11
IV 総利用者数	12
V 施設の使用承認等	13
1 利用料金の徴収	13
2 利用料金の減額及び免除	14
VI 利用促進に係る業務	14
1 供用期間・時間の拡大	14
2 広報業務	14
VII 統括管理業務	14
1 札幌市及び関係機関との連絡調整	14
2 職員研修	15
3 アンケート調査の実施	15
4 施設・設備等の維持管理	16
5 防災業務	17

・添付資料

- I 団体の運営状況を表す事業報告
- II 団体の経営状況を説明する書類

事業実施状況

札幌市民一人ひとりの健康づくり活動を支援するため、健康づくりに関する普及啓発、情報提供、その他健康増進に関する事業を行う事によって、市民の健康向上に寄与することを目的に次の事業を行った。

◆新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館及び感染防止対策等

休館 期間	健診フロア（中央）	運動フロア（中央・西・東）
	5月3日～7月11日 8月27日～9月30日	5月3日～7月11日 7月22日～8月26日（一般開放休止） 8月27日～9月30日

感染防止対策（各施設における取組み）

	実施内容	使用中止等
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・非接触型検温器の設置 ・定期的な換気 ・Co2 測定の実施 ・消毒液の設置 ・注意喚起ポスター等の掲示、館内放送 ・利用人数の制限 ・更衣室利用人数の制限 ・遮蔽スクリーン等の設置（受付・トレッドミル・指導台など） ・集団プログラム実施スペースに応じた定員設定（4㎡/人） ・対人距離の確保（待機場所のマークなど） など 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー室 ・ヘアドライヤー ・ハンドドライヤー ・水分補給以外の飲食 ・ウォータークーラー（冷水器） ・トレーニング機器汗拭きタオル撤去 ・ロビー休憩スペース等の椅子の撤去 ・ロッカーの分散化と間引き
利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・検温、体調確認（入場時体調確認用紙の提出） ・マスク持参・着用 ・入館退館時の手指消毒の徹底 ・運動機器使用後の消毒 など 	

I 指定管理業務

1 健康増進事業（中央）

市民一人ひとりが、安全でより効果的な健康づくり活動を実践することを目的に、医学的検査や体力測定により個々の健康状態を把握し、これにより得た結果を基に必要な指導を行った。

（1）健康度測定

運動負荷心電図検査を含むメディカルチェックと体力測定、生活活動調査、食生活分析の結果をもとに、個々の健康状態や体力及びライフスタイルに応じたアドバイスと運動プログラムの作成及び個別運動指導など、生活習慣の改善を支援する指導を行った(週 5 日)。

ア 一般コース(18 歳以上の方)

基礎的な医学的検査、運動負荷心電図検査、体力測定などを行い、これらの結果に基づき運動・栄養・保健の総合指導を行った。

イ 簡易コース(18 歳以上の方)

6ヶ月以内の健康診断結果(血液検査)を基に必要な検査を実施し、これらに基づき運動・栄養・保健の総合指導を行った。

ウ 特定健診簡易コース

各保険者が行なう特定健康診査の結果を基に必要な検査を実施し、これらに基づき運動・栄養・保健の総合指導を行った。

施設	事業名		対象者	実施回数 (回)	受診者数 (人)
中央	健康度測定	一般コース	一般市民	188回	38
		簡易コース	単独		健診データ6ヶ月以内
	特定簡易		特定健診併用者		128
	合計				520

※健康度測定受診者のうち重視する対象者 440名 (84.6%) (人)

生活習慣病 発症予防対象者	生活習慣病 重症化予防対象者	要介護・要支援 予防対象者	要介護・要支援 認定者	障がい者
65	379	0	10	53

※項目が重複している方がいるため、重視する対象者の総数とは一致しない。

(2) 体力測定コース

基礎的な形態測定、体力測定から得られた結果説明と運動プログラム作成および個別運動指導を行った。

施設	事業名	対象者	実施回数 (回)	受診者数 (人)
中央	体力測定コース	一般市民	15	46

2 利用促進事業

(1) 利用促進対象者の情報提供 (利用連絡票による紹介件数)

医療機関や関係機関との連携により、健康づくりセンターの重視する対象者の情報提供を受け、重視する対象者に健康づくりセンターの利用を促すために、各機関への事業内容周知を行った。

(件)

医療機関	各区 保健福祉部	地域包括 支援センター	介護予防 センター	障がい者 相談事業所	特定保健指導 実施機関
6	1	0	0	0	0

(2) 対象者の意欲喚起

重視する対象者全員に健康度測定受診から6か月後に、中間測定 (体重・腹囲・血圧) を行い、健康運動指導士等から測定結果に合わせて指導を実施した。

施設	中央センター	東センター	西センター	合計
人数 (人)	187	6	112	305

※R2年度10月～R3年度9月に健康度測定を受診した方が対象

3 運動指導事業

市民の自主的な健康づくり活動の実践の場として運動フロアを開放し、健康増進を図るため、健康運動指導士など有資格者による運動指導 (個別・集団)、運動機器の利用指導、運動に関するアドバイスを行った。

(1) 運動フロアの自主利用の促進

市民の自主的な健康づくりを推進するため、健康度測定・体力測定受診者への運動プログラムの作成、個別運動指導や一般利用者に対する運動器具の利用指導を行った。

施設	事業名	実施回数	利用者数 (人)	
中央	自主利用	開館日数 187日 (教室のみ開催+22日)	有料者	18,950
			減額者	10,762
			免除者	1,396
	小計		31,108	
東	自主利用	開館日数 187日 (教室のみ開催+21日)	有料者	11,939
			減額者	1,440
			免除者	146
	小計		13,525	
西	自主利用	開館日数 188日 (教室のみ開催+23日)	有料者	32,057
			減額者	7,240
			免除者	834
	小計		40,131	
合計			84,764	

※重視する対象者の利用状況

重視する対象者人数（人）	延べ利用人数（人）	月平均利用回数（回）
440	12,715	4.1

(2) 自由参加プログラムの実施

エアロビクスやストレッチなどを集団指導する自由参加プログラムを開催、指導した。

施設	事業名	実施回数（回）	利用者数（人）
中央	自由参加プログラム（9回/週）	279	*4,232
東	自由参加プログラム（5回/週）	157	*3,134
西	自由参加プログラム（7回/週）	218	*5,250
	ウォーキング講習	中止（ウォーキングデッキ使用制限）	—
合 計			*12,616

* 自主利用者数に含まれるため施設利用者数に反映しない

自由参加プログラム実施におけるコロナ感染防止対策

自由参加プログラムは、事前予約等もなく、プログラム開始時間に合わせて実施場所に集合した利用者を対象に実施してきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、使用面積等により定員を設け、参加者の決定には安全と公平性を考慮して受付方法等を変更し再開した。

1 受付方法

プログラム参加希望者に整理券を配布し、希望者多数の場合は抽選を行い、各センター各室におけるプログラム実施時の利用者の密の回避に努めた。

	中央	東	西	備考
定員	35人	24人	35人	使用面積4㎡/一人
整理券配布時間	プログラム開始20分前まで			配布終了時点で定員に達しない場合は先着順で定員まで受入れる
整理券配布場所	受付カウンター（施設利用受付時に配布）			
抽選方法	ピンポン玉による公開抽選			プログラム担当者実施
抽選場所	運動フロア	3Fエレベータホール	運動フロア内カウンター	
待機場所	運動フロア 5F廊下	運動フロア ※受付ロビーでは待機できない旨を伝え、場合によっては一度退館を促す	3F廊下	待機場所にはソーシャルディスタンスの目印を床に表示
抽選結果周知	運動フロア内にてマイクで案内、受付に掲示	運動フロア内にてマイクで案内、エレベータ前の掲示板等に掲示	運動フロア内にてマイクで案内、運動フロアロビーのホワイトボード	抽選に外れた方にはできるだけ運動フロアの利用を促す
周知方法	館内掲示、ホームページ			

2 実施プログラム スケジュール

- ※プログラム内容は、強度の低い「かんたんエアロ」のみに統一
- ※前後の教室との入れ替え時間を考慮し30分前後空ける時間で設定
- ※新たな実施方式による混乱を避けるため、各施設の実施本数を減らして実施

(3) 運動指導員の派遣（保健センターへの派遣）

各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、集団的運動の実践指導を行った。

<内訳>

区	実施回数（回）	延べ人数（人）	区	実施回数（回）	延べ人数（人）
中央	申請1件	中止	北	申請2件	中止
東	申請1件	中止	白石	0	0
厚別	0	0	豊平	0	0
清田	0	0	南	2	34
西	0	0	手稲	1	26
合 計(施設利用人数には含まず)				3	60

(4) 個別運動指導

施設	事業名	実施回数(回)	利用者数(人)
中央	個別運動指導 (運動指導・運動プログラムの作成等)	115	*185
東		11	*11
西		72	*103
合計			*299

* 自主利用者数に含まれるため施設利用者数に反映しない

4 利用勧奨事業

(1) 長期末利用者に対する利用勧奨

健康度測定及び個別運動指導を受けた後、健康づくりセンターを2か月以上利用していない重視する対象者に対し、担当者から電話等において再度の来館を促した。

【居住区別長期末利用者】

(人)

	中央	西	東	北	白石	厚別	豊平	清田	南	手稲	市外	合計
重視する対象者数	174	122	34	31	10	4	21	3	20	19	2	440
長期末利用者数	24 13.8%	25 20.5%	7 20.6%	6 19.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	4 20.0%	3 15.8%	1 50.0%	72 16.4%

(2) 健康づくりセンター設置区外の長期末利用者に対する運動相談・運動指導の実施

長期末利用となった主な理由は、最寄の体育館等を利用、入院やケガ、医師からの運動中止など運動実践が難しい状況等であり、センター設置区外の未利用者に対して最寄りの施設における相談・指導の実施には至らなかった。

5 女性のフレッシュ健診(中央)

受診機会の少ない18歳から39歳までの女性を対象に、一般的な健康診断のほか骨粗しょう症検診も併せて実施した。

施設	事業名	実施回数(回)	受診者数(人)
中央	女性のフレッシュ健診	43	718

女性のフレッシュ健診におけるコロナ感染防止対策

受診者同士が密にならないように 受付時間を細分化	通常(コロナ前)	変更後
	①8:30~9:00 ②9:00~9:30	①8:30~8:45 ②9:15~9:30 ③10:00~10:15

6 健康増進に関する情報の収集・提供

(1) 普及啓発事業 ※コロナ感染防止のため中止

センター設置区外の住民に対する重点的な普及啓発

当協会が主催する札幌マラソンや6時間リレーマラソンなどの大型イベントにおいてPRブース等を設置し、施設PR、利用案内、事業説明などを広く周知、広報活動を実施することにより、健康度測定や運動フロアの利用促進を図る計画。

(2) ホームページの運営・図書等の整備

健康に関する文献、市民への情報提供を行うとともに、センターの紹介やイベント案内などをホームページへ掲載、また健診予約システムなどWebサイトの運営によるインターネットからの申込受付を行った。

(3) 刊行物の発行

健康づくりセンターの利用促進及び実施事業・健診等の情報を発信するため、月別利用予定表を発行し、利用者等へ配布した。

(4) 運動動画の配信

コロナ禍における「運動不足の方へ健康エール」として、自宅のできる運動動画を作製し、ホームページにて配信した。

元気になる体操 第1弾	9月4日配信開始	元気になる体操 第6弾	9月21日配信開始
元気になる体操 第2弾	9月7日配信開始	元気になる体操 第7弾	9月25日配信開始
元気になる体操 第3弾	9月9日配信開始	元気になる体操 第8弾	9月30日配信開始
元気になる体操 第4弾	9月11日配信開始	元気になる体操 第9弾	10月8日配信開始
元気になる体操 第5弾	9月17日配信開始	元気になる体操 第10弾	10月13日配信開始

7 その他センターの設置目的を達成するために実施する事業

(1) 各種相談事業

市民の健康増進に資するため、センター利用者などに対して健康づくりや食生活に関する保健・栄養相談と指導を行った。

施設	事業名	対象者	実施回数 (回)	相談数 (人)	
中央	健康相談・栄養相談 (フォロー・電話相談含む)	保健指導	健康度測定者	148	490
			一般相談者	32	46
		栄養指導	健康度測定者	149	496
			一般相談者	42	88
	理学療法士による評価・相談	健康度測定者	144	482	
		一般相談者	15	25	
合計				1,627	

(2) 地域における自主活動への支援等 ※コロナ感染防止のため中止

地域において自主的に健康づくりに取り組んでいる、もしくは取り組む予定の団体・グループ等で、健康維持・増進のための運動に興味・関心がある方々に対し、運動の意義や効能等の講話や「運動指導実演」のためのアドバイス等を行い、それらを自団体・グループ内で実施・普及していただけるよう支援を行う計画。

(3) 調査研究事業

調査研究対象とする事業のデータ収集を行い、そのデータに基づいて分析、検証した。

事業名
股関節疾患を対象とした運動継続者の変化について

II 受託事業

1 健診関係

(1) 特定健康診査

各保険者が行う特定健康診査を実施した。

また、特定健診受診時に健康度測定を受診できるよう「特定簡易コース」を設け、利用促進を図った。

(2) 大腸がん検診及び緊急肝炎ウイルス検査

受診希望者に対して、特定健康診査受診時等に実施した。

施設	事業名	実施日	健診数 (人)	
中央	特定健康診査	健康度測定実施日	46	
	大腸がん検診		3	
	前立腺がん検診		1	
	小計			50
	大腸がん検診	健康度測定と同時受診	* 55	
	前立腺がん検診		* 7	
	緊急肝炎ウイルス検査		* 479	
小計			* 541	
合計 (*含む)			591	

* 健康度測定受診者数に含まれるため施設利用者数に反映しない

2 事業関係

(1) 国保 特定保健指導(積極的支援・動機づけ支援)

対象者が自らの生活習慣における課題に気づき、健康的な行動変容の方向性を自らが導き出せるよう支援を行った。特に積極的支援においては運動実践を取り入れたプログラムを提供し、運動習慣の定着と健康的な生活習慣の確立を目指した支援を行った。

※申込受付、初回面談・終回評価等の保健・栄養指導については中央健康づくりセンターにて実施。積極的支援の運動指導のみ3施設(中央・東・西健康づくりセンター)で実施可。参加数は中央センターへ計上。

施設	事業名	参加数(人)	延べ人数(人)
中央	積極的支援	5	31
	動機づけ支援	10	16
西	積極的支援(運動指導のみ)	1	3
東	積極的支援(運動指導のみ)	1	3
合計		17	53
保健・栄養・運動指導(中央)			*84

*中央センター来館同一日に多職種が指導または電話による支援のため施設利用者数に反映しない

(2) 国保「運動お試し券」事業 運動指導業務

国保加入の特定保健指導参加者で「運動お試し券」を持参した方に、運動習慣の定着化を図ることを目的とし、運動の目安や運動機器の操作などの個別運動指導を行った。

施設	対象	実施回数	利用人数(人)
中央	国保特定保健指導参加者	運動フロア開放時間内 随時実施	32
東			2
西			9
合計			43

※札幌市からの通知により8/2~9/30、1/27~3/21は「運動お試し券」利用中止

III 自主事業

1 健康づくり活動の支援事業

(1) 健診事業

健康増進事業(指定管理業務)等を補完・付加するための検査を実施。

ア) オプション検査など(中央)

施設	事業名	実施回数	健診数(人)		
中央	フォローアップ健診	1	1		
	採用時健診(資格証明)	4	18		
	小計			19	
	簡易セット・追加検査(血液)等	希望者・対象者 随時		*58	
	診断書作成		*5		
	頸動脈エコー検査(健康度受診の希望者)		*104		
	B N P検査(健康度受診の希望者)		*35		
	骨密度検査(健康度受診の希望者)		*51		
	足腰元気度チェック(健康度受診の希望者)		*23		
	HbA1c(女性のフレッシュ健診受診の希望者)		*200		
	安静時心電図検査		*48		
	胃がんリスク検査(ABC検診)		*47		
	PSA検査(前立腺がん検診)		*4		
	血液型検査(ABO式・RH式)		*3		
	小計			*578	
	合計			597	

*健康度測定受診者に含まれるため施設利用者数に反映しない

イ) 健康チェック (中央)

施設	事業名	参加数 (人)
中央	動脈硬化度チェック	3
	体成分チェック	178
	超音波骨密度チェック&アドバイス	16
	理学療法士による姿勢チェック	6
合 計		203

(2) 運動指導教室

施設	事業名	実施数	期	参加数 (人)	延べ人数 (人)
中央	運動教室	72 教室/年	3	1,238	10,458
東	1期・3期:各11回	32 教室/年	3	488	4,166
西	2期:8回	67 教室/年	3	1,592	13,313
合 計-171 教室				3,318	27,937

* 教室種目の中に「子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート種目」含む

(3) 健康サポート教室

市民を対象に健康・体力づくりや運動能力の向上などを目的とした教室や講習会を実施した。また、健康づくり活動に対する動機付けとなる体験会などを実施した。

ア) 運動器疾患別予防運動教室 (中央・東・西)

施設	事業名	期	参加数 (人)	延べ人数 (人)	
中央	膝げんき体操教室	火曜	2	30	402
		水曜	2	22	222
		木曜	2	35	433
		金曜 A M	2	33	397
		金曜 P M	2	31	385
	ひざ腰すこやか体操教室	火曜	2	65	751
		金曜	2	56	672
	腰痛予防運動教室	2	50	475	
	股関節痛予防運動教室	2	32	341	
	小計			354	4,078
東	膝げんき体操教室	2	34	424	
西	ひざの機能アップ教室	3	78	738	
	こしの機能アップ教室	3	60	461	
	サルコペニア予防教室	3	57	468	
	ひざの機能アップ 4 名教室	水曜	3	3	29
		土曜	3	3	34
	こしの機能アップ 4 名教室	3	9	80	
	股関節の機能アップ 4 名教室	3	9	93	
	小計			219	1,903
合 計			607	6,405	

イ) 高齢者～介護予防事業の推進(中央・東・西)

施設	事業名	期	参加数 (人)	延べ人数 (人)	
中央	高齢者のための体力づくり教室	2	31	411	
	高齢者のためのフレイル予防教室	2	24	271	
	高齢者のための筋トレ教室	火曜	2	21	268
		水曜	2	18	221
		木曜	2	22	239
		金曜	2	23	273
		土曜	2	22	223
	【メディカルフィットネス】 リハビリ専門家の体力回復教室	木曜	2	20	258
		金曜	2	23	249
		土曜	2	22	280
	小計			226	2,693
東	高齢者のための体力づくり教室	水曜	2	22	248
		金曜	2	32	398
	小計			54	646

西	高齢者のための体力づくり教室		3	52	468
	高齢者のための筋トレ教室	Am	3	33	294
		昼	3	24	192
		Pm	3	27	248
	高齢者のための筋トレ 8 名教室	火①	3	14	139
		火②	3	8	82
		水①	3	19	187
		水②	3	10	94
		金①	3	10	81
		金②	3	11	94
		土①	3	9	91
		土②	3	4	39
小 計			221	2,009	
合 計			501	5,348	

ウ) 運動習慣化教室(中央・西)

施設	事業名	期	参加数 (人)	延べ人数 (人)	
中央	シェイプアップフィットネス		2	41	469
	エクササイズ de 健康+		2	15	186
	運動☆チャレンジ	火	5	0	0
		木	5	2	19
		金	5	1	9
小 計			59	683	
西	初めての筋活教室		3	49	388
	生活習慣改善運動教室		3	37	294
	小 計			86	682
合 計			145	1,365	

(4) 健康講座

施設	事業名	参加数 (人)	
中央	健康講座	あなたの歩行大丈夫? ~正しく筋肉を使って歩こう~	9
		あなたの歩行大丈夫? ~正しく筋肉を使って歩こう~	8
		脱! メタボ ~肥満改善 食事のできること~	3
		検査データの見方~血液検査からわかること~	4
		ストレスを抱え込まない~ストレスとの付き合い方~	7
		脱! メタボ ~肥満改善 食事のできること~	1
		脱! メタボ ~肥満改善 食事のできること~	6
		知らずに進行する動脈硬化~血管をしなやかに保つには~	11
		認知症を学ぶ& 予防運動講座(2 回コース)	4
		認知症を学ぶ& 予防運動講座(2 回コース)	5
		今から始める若い女性のヘルスクエア講座	2
		今から始める若い女性のヘルスクエア講座	2
		小 計	62
西	脱! メタボ ~肥満改善、食事のできること~	15	
合 計		77	

(5) 運動サポート事業 (中央・西)

施設	事業名	参加数 (人)	
中央	運動効果測定	脚筋力測定	3
		体脂肪測定	17
東	運動効果測定	脚筋力測定	0
		体脂肪測定	0
西	運動効果測定	脚筋力測定	9
		体脂肪測定	11
	健康体力測定	安心コース	18
		もっと安心コース	0
合 計		58	

(6) 特定保健指導(中央) ※札幌市国民健康保険加入者除く

施設	事業名		参加数 (人)	延べ人数 (人)
中央	積極的支援	運動施設	3	7
		在宅実践	1	2
	動機づけ支援	運動施設	2	4
		在宅実践	4	4
合 計			10	17
保健・栄養・運動指導				*36

* 中央センターに来館同一日に多職種が指導または電話による支援のため施設利用者数に反映しない

(7) 禁煙支援プログラム(中央) ※呼気チェックはコロナ感染防止のため中止

施設	事業名	参加数 (人)	延べ人数 (人)
中央	禁煙支援プログラム	—	—
	喫煙者呼気中一酸化炭素濃度チェック	—	—
合 計		—	—

(8) 健康・栄養相談 (中央)

施設	事業名	参加数 (人)
中央	栄養バランス相談	2
	Eメール相談 健康相談窓口	7
合 計		9

2 派遣事業(中央・西)

保健センターや事業所、学校などへ専門スタッフを派遣し実践指導を実施した。

ア 運動指導員・理学療法士派遣

(人)

月日	依頼先	人数
9/8・9	シニアワーキングさっぽろ	137
9/29	豊水まちづくりセンター	7
10/6	ピラティス&ストレッチ沙羅サークル	17
11/6	北海道栄養士会 オホーツク支部	55
12/1	ピラティス&ストレッチ沙羅サークル	19
2/2	ピラティス&ストレッチ沙羅サークル	20
		※その他、中止件数：2件
合 計		6件 255

イ 北海道各地の聴覚障害者向けに自宅で簡単にできる体操の動画(作成・実演)を撮影し提供した。

月日	依頼先
10/28	公益財団法人 北海道ろうあ連盟

ウ 西区ご当地体操「エココロ！やまべエ誰でも体操」の10周年リニューアルの動画撮影(実演)に協力した。

月日	依頼先
3/25	株式会社 らむれす (西区保健福祉課からの委託業者)

3 地域コミュニティ支援事業

地域住民を対象に、周年記念イベントや特別開館などを実施した。

(1) イベント事業 (無料開放) ※コロナ感染防止のため中止

月日	事業名	施設	参加数 (人)
休館等により 中止	さっぽろスポーツDAY	中央・東・西	—
	母の日無料開放 (お母さんのみ)		—
	父の日無料開放 (お父さんのみ)		—
	スポーツの日特別開館 ※コロナウイルスまん延防止対策のため		—
中止	健康づくりセンターフェスタ (中央)	合同	—
合 計			

(2) 特別開館等 (月曜休館日) ※コロナ感染防止のため一部中止

月日	事業名	施設	参加数(人)
中止	西区健康づくりフェア 2021	西	—
1/3	年始特別開館	西	135

4 研修事業 ※コロナ感染防止のため中止

運動指導従事者、介護予防事業従事者を対象に、指導現場において介護予防運動プログラムを効果的に実践するために必要とされる実用的な知識と技能を向上させることを目的に開催を計画

月日	事業名
中止	運動指導従事者研修

5 その他

(1) イベント協力事業 ※コロナ感染防止のため中止

各地域における健康・スポーツ関係団体の開催するイベントにて各種相談・指導等を計画

月日	イベント名	内容
中止	6時間リレーマラソンin札幌ドーム	準備体操・エアロビクス等
	八軒ふれあいまつり	体力測定、やまべ体操
	中央区ウインタースポーツフェスタ in 大倉山	幼児コーナー

(2) 社会貢献

事業名	内容
ミーナの募金	盲導犬育成支援募金「ミーナの募金箱」を設置
さっぽろ救急サポーター事業	「さっぽろ救急サポーター」に参画し、速やかな応急手当による救命率の向上に協力
札幌市地域安全サポーターズ	「こども110番の店」への登録し、子ども達が安全にかつ安心して登下校が出来るよう協力

(3) インターンシップ事業・施設見学 ※インターンシップ事業は受入れ中止

施設	事業内容	延べ人数(人)
中央	施設見学	105
東	施設見学	100
西	施設見学	18
合 計		223

(4) その他

ア 上靴専用ロッカー貸出事業 (中央・東・西)

施設	事業名	内容	設置台数(台)
中央	有料上靴専用貸ロッカー	貸出期間：1か月単位	24人用×3
東			24人用×1
西			24人用×3

イ 自動販売機 (中央・東・西)

施設	事業名	内容	設置台数(台)
中央	自動販売機	飲料・栄養補助食品 ※栄養補助食品はコロナのため販売中止	2
東			2
西			2

ウ 利用者への利便性並びにサービス向上を目的とした物品販売

品 目
スポーツタオル、スポーツソックス
ストレッチ DVD
ストレッチボール、ギムニクボール、セラバンド、シェイプリング
マスク

IV 総利用者数(まとめ)

(人)

区 分		中央	東	西	合 計	
総 計		50,846	18,866	58,121	127,833	
一般利用者		31,108	13,525	40,131	84,764	
うち自由参加プログラム参加者 (再掲)		*4,232	*3,134	*5,250	*12,616	
運動教室		10,458	4,166	13,313	27,937	
その他		9,280	1,175	4,677	15,132	
指定	健康度測定	520	--	--	520	
	体力測定	46	--	--	46	
	女性のフレッシュ健診	718	--	--	718	
受託	単独特定健康診査	46	--	--	46	
	単独大腸がん検診	3	--	--	3	
	単独前立がん検診	1	--	--	1	
	国保 特定保健指導	47	3	3	53	
	運動お試し券利用	32	2	9	43	
内訳	健診	フォローアップ健診	1	--	--	1
		採用時健診 (資格証明)	18	--	--	18
	健康 チェック	動脈硬化度チェック	3	--	--	3
		体成分チェック	178	--	--	178
		脚筋力測定	3	0	9	12
		体脂肪測定 (InBody)	17	0	11	28
	教室	膝げんき体操教室	1,839	424	--	2,263
		ひざ腰すこやか体操教室	1,423	--	--	1,423
		腰痛予防運動教室	475	--	--	475
		股関節痛予防運動教室	341	--	--	341
		ひざの機能アップ教室	--	--	738	738
		こしの機能アップ教室	--	--	461	461
		ひざの機能アップ4名教室	--	--	63	63
		こしの機能アップ4名教室	--	--	80	80
		股関節の機能アップ4名教室	--	--	93	93
		サルコペニア予防教室	--	--	468	468
		シェイプアップフィットネス	469	--	--	469
		エクササイズ de 健康+	186	--	--	186
		運動☆チャレンジ	28	--	--	28
		初めての筋活教室	--	--	388	388
生活習慣改善運動教室		--	--	294	294	
健康講座		62	--	15	77	
支援		特定保健指導	17	--	--	17
	栄養バランス相談	2	--	--	2	
	Eメール健康相談	7	--	--	7	
	健康体力測定	--	--	18	18	
	高齢者のための体力づくり教室	411	646	468	1,525	
	高齢者のためのフレイル予防教室	271	--	--	271	
	リハビリ専門家の体力回復教室	787	--	--	787	
	高齢者のための筋トレ教室	1,224	--	734	1,958	
	高齢者のための筋トレ8名教室	--	--	807	807	
その他	協力	インターンシップ・見学	105	100	18	223

その他(センター施設利用者数に反映されていない健診・指導等)

(人)

その他	区 分		中央	東	西	合 計
	理 指 定 管	保健相談	測定者・一般相談	536	--	--
栄養相談		測定者・一般相談	584	--	--	584
理学療法		測定者・一般相談	507	--	--	507
運動指導		個別運動指導	185	11	103	299
受託	緊急肝炎ウイルス検査(同時)		447	--	--	447
	緊急肝炎ウイルス検査(単独)		32	--	--	32
	大腸がん検診		55	--	--	55
	前立腺がん検診		7	--	--	7
	特定保健指導	保健・栄養・運動	84	--	--	84
自主	簡易セット・追加検査(血液)等		58	--	--	58
	診断書作成		5	--	--	5
	頸動脈エコー検査		104	--	--	104
	BNP 検査		35	--	--	35
	骨強度測定		51	--	--	51
	足腰元気度チェック		23	--	--	23
	HbA1c		200	--	--	200
	安静時心電図検査		48	--	--	48
	胃がんリスク検査(ABC 検診)		47	--	--	47
	PSA 検査(前立腺がん検診)		4	--	--	4
	血液型検査(ABO 式・RH 式)		3	--	--	3
	特定保指導	保健・栄養・運動	36	--	--	36
	合 計					

施設外指導・協力

(人)

その他 (施設外分)	区 分		中央	東	西	合 計
	指定	運動指導員派遣	各区保健センター	34	--	26
自主	派遣事業	運動指導員	199	--	56	255
合 計						315

V 施設の使用承認等

1 利用料金の徴収

各健康づくりセンターにおける利用料金の額及び収受状況については、次のとおり。

施設	区 分		利用料(円)	利用件数(件)	収受合計(円)
中 央	健康度測定	一般コース (さぼーと利用券 6 件含む) ※当協会負担分 1 件につき 500 円	8,000	38	304,000
		簡易コース (さぼーと利用券 11 件含む) ※当協会負担分 1 件につき 500 円	3,000	354	1,062,000
		特定簡易コース	3,000	128	384,000
	体力測定コース		2,500	46	115,000
	女性のフレッシュ健診		2,000	718	1,436,000
	運動指導室	減額利用者(1 回)	200	10,677	2,135,400
		1 回券	390	2,407	938,730
回数券(6 枚綴) ※うち共済券利用 214 枚		1,950	2,848	5,553,600	
小 計					11,928,730
東	運動指導室	減額利用者(1 回)	100	1,450	145,000
		1 回券	200	964	192,800
		回数券(6 枚綴) ※うち共済券利用 203 枚	1,000	1,874	1,874,000
	小 計				
西	運動指導室	減額利用者(1 回)	200	7,246	1,449,200
		1 回券	390	3,494	1,362,660
	ウォーキングデッキ	回数券(6 枚綴) ※うち共済券利用 434 枚	1,950	4,922	9,597,900
	小 計				
合 計					26,550,290

2 利用料金の減額及び免除

札幌市健康づくりセンター使用料減免取扱要領(平成5年8月31日衛生局長決裁)に定められた事項に基づき、使用承認を行った。

区 分	施設	内容	免除・減免数(人)
第3条第2項(抜粋) 健康度測定一般コース又は健康度測定簡易コースを受けた者で前条各号(重視する対象者)のいずれかに該当するものは、検査の日から1年間、所定の使用料から減額する。ただし、健康度測定コースを初めて受けたものは、検査の日から6ヶ月間については使用料を免除する。 ※中央・西センターは190円、東センターは100円を減額	中央	免除	1,396
		減額	10,762
	東	免除	146
		減額	1,440
	西	免除	834
		減額	7,240
合 計			21,818

* 減免期間の延長：5/3～7/11、7/22～9/30の休館期間に重なる減免期間分を延長

VI 利用促進に係る業務

1 供用期間・時間の拡大

(1) 開館時間の延長

施設	内 容	
中央	火～土曜日の開館時間を8時30分に変更(健診フロア)	
	毎週火・木の閉館時間を21時に変更(運動フロア)	毎週火・木の閉館時間30分延長を 中止 。 9:30運動フロア利用開始のところ、受付開始9時以降運動フロア利用可能とした。(休館日以外)
東	毎週火・木の閉館時間を20時30分に変更	
西	毎週火・木の閉館時間を21時に変更	

(2) 開館日増設

施設	内 容	
中央	日曜・祝日健診	健康度測定 → 実施なし
		体力測定コースを実施(7/25、11/28、3/27)
		女性のフレッシュ健診を実施(7/23、10/31、3/13)
西	西区健康づくりフェア → コロナ感染防止のため中止	
	年始(1/3)特別開館	

2 広報業務

広報さっぽろ、新聞、テレビ等による広報

月日	内 容
4月	北海道新聞 暮らし欄「スマートウォッチで健康管理」4/22掲載
6月	きよた健康通信第4号(6月号) ※資料提供・掲載写真撮影協力
9月	北海道新聞 ミニコミ誌 ウォーク(9月号) 「健康エール(当協会配信動画)」
10月	北海道新聞 ミニコミ誌 まちコミュ310(10月号) 「健康エール(当協会配信動画)」
	北海道新聞 緊急事態宣言解除後の開館状況、休館中の利用者向け実施内容 10/2掲載

VII 統括管理業務

1 札幌市及び関係機関との連絡調整

(1) 札幌市健康づくりセンター運営協議会

協議会において業務管理の状況の報告、管理運営上の問題点や改善に関する事項や管理水準の維持向上に向けた協議を行った。

	第1回	第2回	第3回	第4回
月日	6/9	8/12	11/24	3/11 ※書面開催

(2) 西センターにおける関係機関との連絡調整

月日	内 容
中止	八軒連合町内会懇親会・敬老会・新年交礼会、八軒まちづくり協議会全体会
8/23、2/28	八軒まちづくりセンター・八軒会館と合同で自衛消防訓練を実施
不定期	西区定例会議に職員出席

2 職員研修

日常の指導業務等に役立てるため、健康づくりに関する知識及び技術の習得を目的に定期的に職員研修を開催し、全体のスキルアップを図った。

研修名	月日	テーマ	参加数(人)
メディカル スタッフ 研修	12/21	ストレスを抱え込まない / 健康度測定問診票見直し (中央)	11
	1/25	フレイル、特定保健指導について (中央)	8
	2/15	高血圧についてのリスクアセスメント (中央)	11
	2/16	特定保健指導に関する研修 (札幌市 zoom 研修)	7
その他	4/5	事故対応シミュレーション (西)	14
	4/19	事故対応シミュレーション・特定健診・保健指導のためのスキルアップ講座 (中央)	12
	8/23	接遇研修 (東・西)	19
	10/20	健康運動指導士 更新必修講座	3
	10/16,17	幼少年体育指導士認定講座	1
	11/8	普通応急手当講習 I (中央)	33
	11/10,11	新任管理・監督者研修	1
	11/17	コンプライアンス研修 (人間関係向上力)	1
	12/26,17	新規採用職員研修	1
	1/16	自主事業担当職員研修	2
	1/26	障がいについて知ろう～心のバリアフリーとヘルプマーク～ (zoom 研修)	8
	2/10	認知症サポーター養成講座 (zoom 研修)	2
	2/22	障害者差別解消法勉強会	2
	3/7	普通応急手当講習 I (東・西)	16
3/8	ホームページウェブアクセシビリティ入門研修 (zoom 研修)	7	

3 アンケート調査の実施

利用者の意見、要望、満足度を把握し、業務の改善に反映させるため、「札幌市公共スポーツ施設満足度調査」を実施した。

(1) 調査件数

中央	西	東	合計
209 件	214 件	203 件	626 件

(2) 調査結果

設備・サービス満足度	とても満足	まあ満足	普通	少し不満	不満	回答なし
1 利用時間帯(開館～閉館)の設定	234 37.4%	257 41.1%	108 17.3%	19 3.0%	2 0.3%	6 1.0%
2 設備・サービスに見合った利用料金	252 40.3%	257 41.1%	98 15.7%	10 1.6%	0 0.0%	9 1.4%
3 施設内の利用案内のわかりやすさ	224 35.8%	251 40.1%	137 21.9%	6 1.0%	0 0.0%	8 1.3%
4 ホームページのわかりやすさ、見やすさ	119 19.0%	180 28.8%	200 31.9%	29 4.6%	3 0.5%	95 15.2%
5 運動器具・用具の種類の豊富さ	131 20.9%	226 36.1%	196 31.3%	46 7.3%	6 1.0%	21 3.4%
6 運動器具・用具の数の豊富さ	136 21.7%	209 33.4%	198 31.6%	52 8.3%	5 0.8%	26 4.2%

7 運動器具・用具の手入れの行き届き具合	184 29.4%	252 40.3%	160 25.6%	12 1.9%	1 0.2%	17 2.7%
8 運動施設の照明の明るさ	208 33.2%	252 40.3%	154 24.6%	4 0.6%	1 0.2%	7 1.1%
9 運動施設の室温の快適さ	206 32.9%	245 39.1%	160 25.6%	7 1.1%	1 0.2%	7 1.1%
10 施設の全般的な清潔さ(トイレ・シャワー・更衣室等)	153 24.4%	208 33.2%	186 29.7%	33 5.3%	10 1.6%	36 5.8%
11 トイレ設備の快適さ(洋式、洗浄便座等)	148 23.6%	213 34.0%	204 32.6%	40 6.4%	7 1.1%	14 2.2%
スタッフサービス満足度	大変よい	まあ良い	普通	あまり良くない	悪い	回答なし
1 施設スタッフの対応の迅速さ	402 64.2%	170 27.2%	50 8.0%	3 0.5%	0 0.0%	1 0.2%
2 施設スタッフの対応の親切さ	416 66.5%	156 24.9%	49 7.8%	2 0.3%	1 0.2%	2 0.2%
3 施設スタッフのスポーツに関する専門知識	348 55.6%	186 29.7%	76 12.1%	5 0.8%	0 0.0%	11 1.8%
総合的満足度	とても満足	まあ満足	普通	少し不満	不満	回答なし
1 本施設に対する総合的な満足度について	212 33.9%	324 51.8%	71 11.3%	1 0.2%	0 0.0%	18 2.9%

(3) 要求水準に対する結果

項目	満足度	件数	計算方法	要求水準
接遇満足度	99.3%	1,678 件	【スタッフサービス満足度】『大変よい』+『まあ良い』	80.0%
		1,689 件	【スタッフサービス満足度】『大変よい』+『まあ良い』+『あまり良くない』+『悪い』	
総合満足度	99.8%	536 件	【総合的満足度】『とても満足』+『まあ満足』	80.0%
		537 件	【総合的満足度】『とても満足』+『まあ満足』+『少し不満』+『不満』	

4 施設・設備等の維持管理

(1) 修繕

(税込)

施設	月日	内 容	金額 (円)
中央	12/4	エアロバイク修理	36,740
	3/21	多目的室壁面クロス張替修繕	242,000
	3/26	アブドミナル・アダクション(脚筋カトレーニング機器)修理	21,560
		小 計	3 件 300,300
東	1/26	トレッドミル走行デッキ交換修繕	105,292
	3/10	トレッドミルベルトローラー/テンションローラー交換修繕	40,221
		小 計	2 件 145,513
西	12/1	女子ロッカー送水管定流弁・ストレーナー交換作業	63,800
	3/23	エアロバイク修繕 (4 台分)	64,262
	3/27	外壁看板 法人名修正ステッカー制作・貼付作業	44,000
		小 計	3 件 172,062
		合 計	8 件 617,875

(2) 備品更新

(税込)

施設	月日	内 容	金額 (円)
西	3/7	アップライトサイクル Matrix U-PS 6 台	1,947,000
		エリプティカル Matrix E-PS 2 台	3,003,000
		合 計	4,950,000

(3) 改修工事等 (札幌市保健所)

施設	月日	内 容
中央	3/16	多目的室ほか、天井照明用安定器交換

5 防災業務

月日	内 容
8/23	自衛消防訓練① 八軒まちづくりセンターと合同実施（西）
9/25	消防・避難訓練①（中央）
11/8	普通応急手当講習（中央）
2/28	自衛消防訓練② 八軒まちづくりセンターと合同実施（西）
3/7	普通応急手当講習（東・西）
3/15	消防・避難訓練②（中央）

添付資料

I 団体の運営状況を表す事業報告

- ・ 事業報告書

II 団体の経営状況を表す財務諸表

- ・ 収支決算書

様式1 令和3年度 健康づくりグループ収支決算書(総括表)

単位:円
税込

1 収入

項目		予算額	決算額	摘要
指定管理業務	指定管理費	104,400,000	122,446,255	
	利用料金収入	41,534,000	26,550,290	
	雑収入	-	20,120	
	その他収入	-	-	
	指定管理収入小計(A)	145,934,000	149,016,665	
自主事業収入(B)		58,479,000	33,124,420	
受託事業収入(C)		5,513,000	8,410,670	
収入計(A)+(B)+(C)		209,926,000	190,551,755	

2 支出

大項目	中項目	小項目	予算額	決算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	4,360,000	4,569,931	
		物件費	850,000	640,317	
		小計	5,210,000	5,210,248	
	事業費	人件費	131,774,000	132,240,324	
		物件費	43,291,000	40,349,657	
		小計	175,065,000	172,589,981	
	指定管理支出小計(D)		180,275,000	177,800,229	
自主事業	管理費	人件費	1,878,000	1,122,223	
		物件費	363,000	157,238	
		小計	2,241,000	1,279,461	
	事業費	人件費	44,103,000	24,797,438	
		物件費	29,276,000	18,187,200	
		小計	73,379,000	42,984,638	
	自主事業支出小計(E)		75,620,000	44,264,099	
受託事業	管理費	人件費	206,000	316,466	
		物件費	44,000	44,342	
		小計	250,000	360,808	
	事業費	人件費	5,437,000	8,663,575	
		物件費	2,353,000	1,753,437	
		小計	7,790,000	10,417,012	
	受託事業支出小計(F)		8,040,000	10,777,820	
支出計(D)+(E)+(F)		263,935,000	232,842,148		

3 収支

項目	予算額	決算額	備考
指定管理業務収支差(A)-(D)	-34,341,000	-28,783,564	
自主事業収支差(B)-(E)	-17,141,000	-11,139,679	
受託事業収支差(C)-(F)	-2,527,000	-2,367,150	
施設収支合計	-54,009,000	-42,290,393	自主財源からの繰入

自主事業等による利益還元

法人税等(法人税、住民税及び事業税)	28,000	2,098,000	法人税
--------------------	--------	-----------	-----

注)

1 施設において自主事業として実施する、札幌市その他の機関や団体からの受託事業の実施を予定している場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)

2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。

3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。

4 収支の表の法人税等欄の額が確定していない場合は、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和3年度 健康づくりグループ収支決算書(収入)

1.利用料金収入

単位:円
「税込」

施設名	料金区分	決算額	備考
中央健康づくりセンター	個人利用	11,928,730	専用利用なし
	専用利用		
	計	11,928,730	
西健康づくりセンター	個人利用	12,409,760	専用利用なし
	専用利用		
	計	12,409,760	
東健康づくりセンター	個人利用	2,211,800	専用利用なし
	専用利用		
	計	2,211,800	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
総計		26,550,290	

注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)

2.指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

単位:円
「税込」

項目	事業名	決算額	摘要
指定管理 業務	指定管理費	122,446,255	
	雑収入	20,120	
	その他収入	-	
	指定管理業務事業収入計	122,466,375	
自主事業	健康・スポーツ情報提供事業	-	
	健康・体力づくり相談事業	32,099,030	
	物品販売等事業	1,025,390	
	自主事業収入計	33,124,420	
受託事業	健康・スポーツ行事受託事業	8,410,670	
		-	
		-	
	受託事業収入計	8,410,670	
事業収入計		164,001,465	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
 2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 3 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
 4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
 5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名(予定)を記載してください。

様式3 令和3年度 健康づくりグループ収支決算書(支出)

単位:円

「税込」

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	3,853,001	95,405,153	946,169	17,607,232	266,819	6,043,661
	臨時雇賃金	-	20,414,028	-	4,140,743	-	1,595,090
	法定福利費	674,085	15,144,590	165,533	2,827,481	46,680	945,966
	福利厚生費	42,845	1,276,553	10,521	221,982	2,967	78,858
	人件費計	4,569,931	132,240,324	1,122,223	24,797,438	316,466	8,663,575
物件費	仕入高	-	-	-	71,738	-	-
	報酬	24,093	-	5,916	9,053,184	1,668	-
	教育研修費	-	175,601	-	-	-	-
	報償費	-	-	-	22,649	-	-
	会議費	226	-	55	-	15	-
	交際費	100	-	24	-	7	-
	旅費交通費	910	98,473	224	132	63	-
	通信運搬費	6,578	975,919	1,615	142,803	456	21,630
	減価償却費	-	3,401,055	-	306,459	-	-
	消耗什器備品費	-	1,022,649	-	141,900	-	-
	消耗品費	25,268	2,658,527	6,205	692,187	1,750	172,154
	修繕費	17,155	584,082	4,213	-	1,188	-
	工事請負費	-	-	-	-	-	-
	印刷製本費	22,271	270,032	5,469	326,810	1,542	-
	燃料費	-	16,494	-	2,284	-	-
	光熱水費	-	-	-	-	-	-
	賃借料	-	851,977	-	106,819	-	-
	保険料	37,931	125,374	9,314	442,844	2,627	-
	諸謝金	313,055	424,072	76,876	192,732	21,679	-
	広告宣伝費	84,120	6,035	20,657	-	5,825	-
	租税公課	16,817	286,882	4,129	53,650	1,165	17,633
	負担金	24,081	99,000	5,913	-	1,668	-
	支払寄付金	-	9,897,293	-	-	-	-
	委託費	22,789	8,170,302	5,596	3,663,455	1,578	1,253,609
	支払給付金	-	-	-	-	-	-
	支払利息	-	21,472	-	-	-	-
	支払手数料	2,017	60,715	496	147,163	140	-
	雑費	42,906	30,221	10,536	108,626	2,971	-
	その他(消費税納付)	-	11,173,482	-	2,711,765	-	288,411
	物件費計	640,317	40,349,657	157,238	18,187,200	44,342	1,753,437
支出計	5,210,248	172,589,981	1,279,461	42,984,638	360,808	10,417,012	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
 - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
 - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式5 令和3年度収支決算書(支出)の内訳(物件費)

単位:円
「税込」

1 指定管理業務

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	-	-	
報酬	24,093	-	・管理費～本部経費按分(5.22%)
教育研修費	-	175,601	・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
報償費	-	-	
会議費	226	-	・管理費～本部経費按分(5.22%)
交際費	100	-	・管理費～本部経費按分(5.22%)
旅費交通費	910	98,473	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
通信運搬費	6,578	975,919	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
減価償却費	-	3,401,055	・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
消耗什器備品費	-	1,022,649	・事業費～本部経費按分(5.22%)
消耗品費	25,268	2,658,527	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
修繕費	17,155	584,082	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
工事請負費	-	-	
印刷製本費	22,271	270,032	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
燃料費	-	16,494	・事業費～本部経費按分(5.22%)
光熱水費	-	-	
賃借料	-	851,977	・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
保険料	37,931	125,374	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
諸謝金	313,055	424,072	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～本部経費按分(5.22%)
広告宣伝費	84,120	6,035	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～本部経費按分(5.22%)

租税公課	16,817	286,882	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
負担金	24,081	99,000	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
支払寄付金	-	9,897,293	・事業費～施設経費
委託費	22,789	8,170,302	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
支払給付金	-	-	
支払利息	-	21,472	・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
支払手数料	2,017	60,715	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
雑費	42,906	30,221	・管理費～本部経費按分(5.22%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(5.22%)
その他	-	11,173,482	消費税納付分
計	640,317	40,349,657	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

2 自主事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	-	71,738	・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
報酬	5,916	9,053,184	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～施設経費
教育研修費	-	-	
報償費	-	22,649	・事業費～施設経費
会議費	55	-	・管理費～本部経費按分(10.35%)
交際費	24	-	・管理費～本部経費按分(10.35%)
旅費交通費	224	132	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
通信運搬費	1,615	142,803	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
減価償却費	-	306,459	・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
消耗什器備品費	-	141,900	・事業費～施設経費
消耗品費	6,205	692,187	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
修繕費	4,213	-	・管理費～本部経費按分(10.35%)
工事請負費	-	-	
印刷製本費	5,469	326,810	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～本部経費按分(10.35%)
燃料費	-	2,284	・事業費～本部経費按分(10.35%)
光熱水費	-	-	
賃借料	-	106,819	・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
保険料	9,314	442,844	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
諸謝金	76,876	192,732	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
広告宣伝費	20,657	-	・管理費～本部経費按分(10.35%)

租税公課	4,129	53,650	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
負担金	5,913	-	・管理費～本部経費按分(10.35%)
支払寄付金	-	-	
委託費	5,596	3,663,455	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
支払給付金	-	-	
支払利息	-	-	
支払手数料	496	147,163	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～施設経費
雑費	10,536	108,626	・管理費～本部経費按分(10.35%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(10.35%)
その他	-	2,711,765	消費税納付分
計	157,238	18,187,200	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

3 受託事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	-	-	
報酬	1,668	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
教育研修費	-	-	
報償費	-	-	
会議費	15	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
交際費	7	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
旅費交通費	63	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
通信運搬費	456	21,630	・管理費～本部経費按分(61.59%) ・事業費～施設経費
減価償却費	-	-	
消耗什器備品費	-	-	
消耗品費	1,750	172,154	・管理費～本部経費按分(61.59%) ・事業費～施設経費
修繕費	1,188	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
工事請負費	-	-	
印刷製本費	1,542	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
燃料費	-	-	
光熱水費	-	-	
賃借料	-	-	
保険料	2,627	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
諸謝金	21,679	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
広告宣伝費	5,825	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)

租税公課	1,165	17,633	・管理費～本部経費按分(61.59%) ・事業費～施設経費
負担金	1,668	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
支払寄付金	-	-	
委託費	1,578	1,253,609	・管理費～本部経費按分(61.59%) ・事業費～施設経費
支払給付金	-	-	
支払利息	-	-	
支払手数料	140	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
雑費	2,971	-	・管理費～本部経費按分(61.59%)
その他	-	288,411	・消費税支払
計	44,342	1,753,437	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

令和3年度

事業報告書



一般財団法人 札幌市スポーツ協会

【はじめに】

令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が全国的にまん延し、北海道においても緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、指定管理施設においては休館や一般開放休止、時間短縮等の利用制限が行われ、自主事業（大会・イベント等）も多数中止となりました。

基本的な感染症対策の徹底と感染リスクが高い場所への外出や移動を控えることが継続して求められ、各事業に大きな影響を及ぼした年となりました。

1 指定管理施設の運営事業

(1) 札幌市体育施設の利用状況（単位：人）

ア 札幌市体育館グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
北区体育館	67,835	16,362	84,197
東区体育館	47,290	12,665	59,955
白石区体育館	72,402	16,841	89,243
厚別区体育館	57,746	16,844	74,590
清田区体育館・温水プール	83,881	9,897	93,778
体育館	52,614	9,897	62,511
プール	30,016	0	30,016
体育館・プール共通	1,251	—	1,251
豊平区体育館	48,243	15,094	63,337
南区体育館	53,956	8,499	62,455
西区体育館・温水プール	130,774	16,193	146,967
体育館	78,226	16,193	94,419
プール	51,202	0	51,202
体育館・プール共通	1,346	—	1,346
手稲区体育館	58,671	15,119	73,790
北ガスアリーナ札幌46	61,153	73,359	134,512
中島体育センター	38,538	19,528	58,066
宮の沢屋内競技場	11,175	16,522	27,697
白旗山競技場	3,556	5,957	9,513
合計	735,220 (前年度 849,309)	242,880 (前年度 185,073)	978,100 (前年度 1,034,382)

イ 札幌市温水プールグループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
厚別温水プール	51,057	666	51,723
豊平公園温水プール	25,953	477	26,430
平岸プール	61,199	9,842	71,041
白石温水プール	33,605	1,008	34,613
手稲曙温水プール	46,208	815	47,023
東温水プール	42,382	1,391	43,773
合計	260,404 (前年度 335,441)	14,199 (前年度 12,053)	274,603 (前年度 347,494)

ウ 札幌市美香保体育館

施設名	個人利用	専用利用	合計
美香保体育館	26,310	39,172	65,482
体育館	395	8,642	9,037
スケート場	25,915	9,752	35,667
公園野球場	—	20,778	20,778
合計	26,310 (前年度 33,222)	39,172 (前年度 51,514)	65,482 (前年度 84,736)

エ 札幌市スケート施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
月寒体育館	44,027	24,679	68,706
体育館	17,370	—	17,370
スケート場	26,657	24,679	51,336
月寒屋外競技場	54	5,413	5,467
ラグビー場	—	2,922	2,922
庭球場	—	2,346	2,346
弓道場	54	145	199
星置スケート場	8,884	16,298	25,182
どうぎんカーリングスタジアム	—	40,046	40,046
合計	52,965 (前年度 58,065)	86,436 (前年度 100,587)	139,401 (前年度 158,652)

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場	—	88,906	88,906
野球場	—	67,177	67,177
陸上競技場※1	—	—	0
庭球場	—	21,729	21,729
補助競技場	—	—	0
スケート場	—	—	0
麻生球場	—	37,426	37,426
野球場	—	36,218	36,218
庭球場	—	1,208	1,208
平岸庭球場	—	10,439	10,439
厚別公園	22,242	92,294	114,536
主競技場	12,049	82,208	94,257
補助競技場	1,660	10,086	11,746
トレーニングルーム	8,533	—	8,533
合計	22,242 (前年度 65,875)	229,065 (前年度 175,255)	251,307 (前年度 241,130)

※1 札幌市による保全工事のためR3年度は休場。

カ 札幌市スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計
スポーツ交流施設※3	28,752	341,622	370,374
屋内グラウンド	28,659	339,989	368,648
屋外テニスコート	—	165	165
パークゴルフ場	93	—	93
屋外球技場	—	1,308	1,308
イベント広場	—	160	160
合計	28,752 (前年度 24,338)	341,622 (前年度 33,278)	370,374 (前年度 57,616)

(単位：人)

体育施設合計	2,079,267 (前年度 1,924,010)
--------	------------------------------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況 (単位：人)

施設名	個人利用	専用利用	合計
中央健康づくりセンター	50,846	—	50,846
西健康づくりセンター	58,121	—	58,121
東健康づくりセンター	18,866	—	18,866
合計	127,833 (前年度 137,087)	— (前年度 —)	127,833 (前年度 137,087)

(3) 札幌国際交流館の利用状況 (単位：人)

施設名	個人利用	専用利用	合計
国際交流館	31,598	11,075	42,673
プール	22,163	0	22,163
体育室	9,433	4,600	14,033
総合	2	—	2
ライラックホール	—	6,475	6,475
合計	31,598 (前年度 41,312)	11,075 (前年度 12,546)	42,673 (前年度 53,858)

※指定管理施設においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、①4/24～5/2 夜間の一般開放休止、体育館 G 一般開放人数制限、②5/3～7/11 原則休館、③7/22～8/27 制限付き開館、④8/27～9/30 原則休館とした。

全施設合計

(1) + (2) + (3)

(単位：人)

今年度利用者数	2,249,773
前年度利用者数	2,114,955
増減	134,818

2 学校施設の開放事業/受託事業

(1) センター管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	158	21	13	16	208
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	315,504 (前年度 352,688)	2,337 (前年度 7,991)	10,655 (前年度 8,934)	2,210 (前年度 3,262)	330,706 (前年度 372,875)

(2) 自主管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	105	1	106
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	310,078 (前年度 356,573)	39 (前年度 223)	310,117 (前年度 356,796)

(3) プール開放の利用状況（単位：人）

施設区分	プー ル
開放校数	194
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	0 (前年度 0)

学校施設の開放合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	640,823
前年度利用者数	729,671
増 減	△88,848

※学校施設の開放事業においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、①4月27日から7月19日まで、②8月30日から10月5日まで開放を中止した。

※プール開放については、7月から8月の開放期間全て開放を中止した。

3 地域スポーツ普及振興事業 (5,305 事業 71,502 人)

(1) スポーツ教室事業 (5,262 事業 62,635 人)

各施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「バドミントン教室」や「フットサル教室」などの球技系種目のほか、幼児向けの「体操教室」や、小学生向けの「ダンス教室」などを実施し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、会社勤めの成人にも参加いただけるように「ナイトヨガ」などのフィットネス教室を実施したほか、「健康体操」や「水中ウオーキング教室」など高齢者がスポーツをはじめるときかけとなるプログラムを実施した。さらに、障がい者スポーツ普及の観点から、水泳教室として「チャレンジスイミング」、体操教室として「チャレンジジム」を実施した。(5,141 事業 58,678 人)。

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との連携による「運動あそび い・ろ・は」などのスクール事業 (40 事業 509 人) を継続実施するとともに、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」や「体操教室」 (2 事業 26 人)、「カーリング」や「アイスホッケー」などのウインタースポーツ活性化のための教室 (72 事業 3,289 人)、施設間合同事業として市内を6グループに分けて施設を横断的に利用する「DO! スポ KIDS」 (6 事業 120 人) を継続実施、新たに、高齢者を対象とした健康に関する知識と実践力を身に付ける「DO スポ! シニア健康塾」 (1 事業 13 人) など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

(2) スポーツ大会、スポーツイベント事業 (16 事業 472 人)

地域のスポーツ活動の支援となるテニスやサッカーなどの多種多様なスポーツ大会、カーリングなどのウインタースポーツ大会、ダンス発表会や車いすテニス体験会、札幌オリンピック 50 周年と美香保体育館開館 50 周年を記念した「Anniversary Festival in 美香保」などのイベント事業を開催した (15 事業 452 人)。また、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的に、スポーツ教室受講生を対象とした大会や、供用時間外に行うスポーツナイトリーグなど、複数の管理施設合同の事業 (1 事業 20 人) を開催した。

※「さっぽろスポーツ DAY」「スポーツの日」「朝野球大会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(3) スポーツキャラバン事業 (18 事業 1,154 人)

町内会及び PTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、ニュースポーツ用具の貸出などを行った。

ア 出前講習会

イベントや企業での体組成測定やクロスカントリースキー体験 (5 事業 307 人)。

イ 指導員派遣

連合町内会などの講座への指導員派遣 (6 事業 847 人)。

ウ ニュースポーツ用具のレンタル

ストライクボードなどのニュースポーツ用具を貸出 (7 事業)。

(4) タグラグビー親子体験会 (1 事業 130 人)

札幌市からの受託事業として小学生の親子を対象に 6 会場 (南区、豊平区、手稲区、北区、厚別区体育館) で行うタグラグビーの体験会の企画・運営を担った。北区、厚別区体育館は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となったが、延べ 130 人が参加した。

(5) ウインタースポーツ塾 (1 事業 6 種目 243 人)

札幌市からの受託事業として小学生を対象にウインタースポーツ 6 種目 (フィギュアスケート・カーリング・リュージュ・スノーボード・スキージャンプ・クロスカントリースキー) の体験会の企画・運営を担った。2 日間実施のうち、1 日目の屋外 4 種目が悪天候で中止となったが、243 人が参加した。

(6) 歩くスキー常設コース事業／受託事業 (2 事業 白旗山 2,050 人／中島公園 4,143 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

(7) ウオーキングステーション事業 (5 事業 14 コース 675 人)

管理 5 施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟 (IWV) のイヤーラウンドコースを設置し、距離の認定を行った。

4 健康・体力づくり相談事業 (健康づくりセンター 400 事業 22,359 人)

(1) 健康増進・運動指導事業／指定管理事業 (35 事業 16,074 人)

ア 健康増進・健診事業 (8 事業 2,911 人)

健康状態の把握に必要な検査と体力測定及びこれに基づき生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」を行った (4 事業 566 人)。

また、健康診断を受ける機会が少ない 18 歳から 39 歳の女性を対象とした「女性のフレッシュ健診」や、保健師、管理栄養士、理学療法士が専門的立場から利用者への相談及び指導を行った (4 事業 2,345 人)。

イ 運動指導事業 (27 事業 13,163 人)

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにおける運動機器の利用指導、「エアロビクス」などの自由参加プログラム（21事業 12,616人）、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行った（3事業 487人）。

また、各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、運動の実践指導を行った（3事業 60人）。

※「ウォーキング講習」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(2) 健診・指導業務／受託事業（11事業 651人）

ア 健診事業（4事業 591人）

中央健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」、「緊急肝炎ウイルス検査」及び「前立腺がん検診」等を行った。

イ 指導業務（7事業 60人）

国保加入の特定健康診査受診者で「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的とした保健・栄養・運動の指導を行った。

また、上記の特定保健指導参加者で「運動お試し券」を持参された方に個別運動指導を行った。

(3) 健康づくり活動の支援事業など／自主事業（354事業 5,634人）

健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講座（268事業 4,427人）のほか、高齢者の健康維持や運動機能向上、生きがいづくり支援のための各種教室（60事業 501人）を行った。また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、運動の実技指導や健康講座などを行ったほか、健康度測定や女性のフレッシュ健診受診者対象のオプション検査等を実施した。（26事業 706人）

※「運動指導従事者研修」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

5 国際交流推進事業（265事業 5,251人）

(1) 国際交流事業／指定管理事業（13事業 2,768人）

札幌国際交流館において、「プレイワールド in リフレ」を開催し、子供たちがスポーツを通じて英語や海外の文化に触れる機会を提供したほか、施設ロビーでは「姉妹都市パネル展」や「フェアトレード紹介パネル展」などの展示会を実施し、市民の国際理解や多文化共生の取り組みを推進した。

※JICA北海道と共催で実施している「世界ふれあいひろば」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため昨年度に続き中止

(2) スポーツ教室事業など（252事業 2,483人）

幼児から成人までの幅広い年齢層を対象とし、技術の向上や、健康・体力づくりを目的として、テニス・水泳教室をはじめとする各種競技種目や、「ヨガ」「ZUMBA」などフィットネス教室、また小学生を対象とした「かけっこ教室」などを開催し、市民に継続的な運動の機会を提供した。

6 スポーツ大会・イベントの開催（41事業 11,744人）

(1) 札幌市民スポーツ大会の開催

広く市民の間にスポーツの普及・振興・発展を図り、健康の維持増進と文化生活的向上に資することを目的に実施した。

ア 第62回札幌市民スポーツ大会総合開会式

開催日：5月14日（金）

会場：札幌市民交流プラザ クリエイティブスタジオ

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

イ 市民スポーツ大会開催経費補助事業

加盟団体が実施する市民スポーツ大会開催経費の一部を補助する。

事業数：34事業（34競技）

※実施事業のうち、1事業（1競技）は予選会のみ実施。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため1競技は実施なし、18競技は中止

なお、中止の18競技のうち、9競技については、コロナ感染拡大防止のため急遽中止となったことから、中止までにかかった経費の一部を補助した。

参加者数：8,264人（指定管理施設外：1,824人）

(2) 第44回北海道を歩こう

新型コロナウイルス感染症の対策として、真駒内から支笏湖ポロピナイまでの33kmコースを定山溪までの20kmコースに変更した。定員300人で募集を行ったが、開催直前の「緊急事態宣言」の発令により中止とした。

開催日：5月23日（日）

会場：真駒内中学校～定山溪神社

種目：20km

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(3) 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム 2021

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソン。

開催日：9月25日（土）

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195kmリレーマラソン

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(4) 第46回札幌マラソン

ア ハーフマラソン及び10kmは公益財団法人日本陸上競技連盟公認コース。

開催日：10月3日（日）

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム

種目：ハーフマラソン、10km、ファンペア他

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

イ 札幌マラソン 2021 ONLINE CHALLENGE

第46回大会の代替事業として、Web上で走行距離を競うオンライン大会や大迫傑氏とのオンライントークショーを開催した。

開催日：10月15日（金）～10月31日（日）（15日間）

（オンライントークショーは10月27日（水）に実施）

特別ゲスト：大迫傑

参加者数：2,461人（オンライントークショーは30人）

(5) 第42回札幌国際スキーマラソン

ア クロスカントリースキーの普及を図る国際連盟「ワールドロベット」に加盟する国内唯一の大会。

会場を札幌ドームから白旗山競技場に変更し、新型コロナウイルス感染症の対策として、定員800人で募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。

開催日：2月6日（日）

会場：白旗山競技場及び周辺コース

種目：スキーマラソン50km・25km、歩くスキー10km・3km

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

イ Fun on Sapporo Virtual Race～札幌国際スキーマラソン 2022～

第 42 回大会と併催で、ワールドロペットのバーチャルレーシングリーグの認定大会となるオンライン大会を開催した。

※バーチャルレーシングリーグは、各国の認定大会のうち 7 大会に参加し、完走することでバーチャルレーサーとして認定される制度

開催日：2月6日（日）～3月6日（日）（29日間）

距離：50 km・25 km・11 km・5 km・3 km

種目：クロスカントリースキー・ローラースキー・スノーシュー・ランニング・ウオーキング・サイクリング

参加者数：200 人（国内 155 人、国外 45 人）

(6) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア Sugar Elite kids in Sapporo

東京オリンピックマラソン競技出場・引退後の大迫傑氏（プロマラソンランナー）によるランニング教室を市内小学生、中学生を対象に開催した。

開催日：9月26日（日）

会場：北ガスアリーナ札幌 46

講師：大迫傑

参加者数：50 人

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためオンラインで実施

イ 明日のアスリート研究所（アスアスラボ）

開催日：11月6日（土）「北風沙織のかけっこラボ」（白石区体育館）

11月23日（火祝）「古田史郎・白石啓丈・辰巳遼のバレーボールラボ」（白石区体育館）

参加者数：2事業 256 人

ウ ほっかいどう大運動会 2022

道内 6 市にてキャラバン形式で開催、ダッシュチャレンジ、ピッチングチャレンジを実施した。

開催日：2月27日（日）

会場：中島体育センター

講師：北風沙織（元陸上競技選手）、立石尚行（元プロ野球選手）

参加者数：37 人

※さっぽろスノースポーツフェスタ 2022 は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

2022 年札幌市室内陸上競技大会は 3 月 20 日（日）に札幌市スポーツ交流施設で実施、513 名の参加があった

(7) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催協力

ア 北海道・札幌マラソンフェスティバル 2021（5月5日）コース監察員（協会 20 人）、沿道ボランティア等の従事（53 競技団体から延べ 241 人）

イ 選手練習会場の運営（7月31日～8月7日 真駒内セキスイハイムスタジアム）（協会 15 人）

ウ 男女競歩競技（8月5・6日）沿道ボランティア等の従事（53 競技団体から延べ 245 人）

エ 男女マラソン競技（8月7・8日）コース監察員（協会 20 人）、沿道ボランティア等の従事（53 競技団体から延べ 286 人）

オ 施設の練習会場利用（サッカー）

白旗山競技場（7月13日～7月31日）

厚別公園競技場（7月9日～7月31日）

- カ 施設のホストタウンに伴う事前合宿利用（パラリンピック）
手稲区体育館（ウクライナ男子ゴールボールチーム 8月10日～8月18日）
南区体育館（カナダ女子ゴールボールチーム 8月11日～8月21日）

キ 機運醸成事業

- (7) 「DO!スポKIDS」へのオリンピック（星奈津美）ゲスト参加（7月30日～8月25日 白石、西、厚別、東温水プール）
(4) オリンピックパネル展（北ガスアリーナ札幌46、北、東、白石、厚別、豊平、清田、南、西、手稲区体育館）
a 札幌オリンピック50周年パネル展(11月8日～2月27日)
b 東京2020オリンピック（マラソン・競歩）パネル展(11月29日～3月21日)

7 スポーツの競技力向上及び普及促進に関する事業（141事業 6,218人）

(1) 加盟53団体及びスポーツ団体等に対する組織強化、指導並びに育成に関する事業

ア スポーツ団体との連絡調整

公益財団法人北海道スポーツ協会及び、北海道内のスポーツ団体と連携し、加盟競技団体並びにスポーツ団体等に対する組織強化、育成に関する事業を円滑に行った。

イ 加盟競技団体への指導・助言など

加盟団体代表者・事務担当者会議を開催し、各種事務処理の説明や意見交換などを行い、各加盟団体相互の連携と融和を図るとともに、加盟競技団体などの要請に応じて、適時、各種大会運営及び組織体制強化充実等についての指導・助言を行った。

また、加盟団体などが行う事業に対し、要請に応じて後援・協力を行った。

(7) 加盟団体理事長・事務担当者会議

開催日：2月24日（木）

会場：北海道立総合体育センター

内容：令和4年度各種補助金事業取扱について 他

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

※会議にて配布予定であった資料一式を各事務局宛に送付し、質問等については個別対応とした

(2) 競技力向上・普及促進事業（65事業 5,623人 166件）

加盟競技団体が、選手強化・育成や指導者の資質向上及び各競技の普及促進を図ることを目的に実施する事業経費の一部補助等を行った。

ア 競技力向上指導者講習会（1事業 58人）

開催日：11月18日（木）

会場：北海道立総合体育センター

内容：実践！グッドコーチング 暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して

講師：大阪体育大学大学院 教授 学長補佐 土屋 裕睦 氏

参加者数：58人（うち、オンライン 23人）

その他：自宅で受講できる環境整備のため、オンラインによる同時配信を行った。

イ 競技力向上事業（44事業 3,765人）

(7) 加盟団体が行う選手強化育成事業への経費補助

（22団体 41事業、参加者3,019人 指導者562人）（指定管理施設外：1,877人）

※上記の他、1団体1競技については、コロナ感染拡大防止のため急遽中止となったことから、

中止までにかかった経費の一部を補助した

(4) 加盟団体が行う指導者育成事業への経費補助

(3 団体 3 事業、参加者 160 人 指導者 24 人) (指定管理施設外: 40 人)

※上記の他、1 団体 1 競技については、コロナ感染拡大防止のため急遽中止となったことから、中止までにかかった経費の一部を補助した

ウ 普及促進事業 (20 事業 1,800 人)

(7) 加盟団体が行う普及促進講習会及び研修会開催事業への経費補助

(9 団体 11 事業、参加者 569 人 指導者 116 人) (指定管理施設外: 561 人)

(4) 加盟団体が行うスポーツ教室等開催事業への経費補助

(7 団体 9 事業、参加者 880 人 指導者 235 人) (指定管理施設外: 829 人)

(3) さっぽろアスリートサポート事業 (64 事業 166 件)

次世代のトップアスリートを育成するため、札幌のスポーツ活動の充実と発展に寄与する団体及び個人の活動に対し、大会、強化合宿等の参加経費や指導者の育成に関する自己負担分の助成を行った。

ア 市民スポーツ振興事業 (1 団体 1 事業 1 件)

市民が広く継続的にスポーツに親しむことのできる事業を行う団体に対し助成を行った。

(NPO 法人花サイクルクラブ～スノーデュアスロン北海道 2022 第 9 回滝野公園大会開催の助成)

イ スポーツ大会出場及び強化合宿参加補助事業 (62 団体 34 事業 136 件)

道外で開催される国際スポーツ大会、全国規模の青少年スポーツ大会及び合宿練習への参加に対し助成を行った。

(7) 国際スポーツ大会助成 (FIS コンチネンタルカップノルディックコンバインド、オーストリア遠征～葛西優奈 5 位、FIS ジュニアワールドスキーチャンピオンシップ、ポーランド遠征～葛西春奈 2 位ほか)

(4) 全国規模大会助成 (第 26 回高野山旗全国学童軟式野球大会、和歌山県遠征～東 16 丁目フリッパーズ準優勝ほか)

ウ 青少年冬季スポーツ振興事業 (29 団体 29 事業 29 件)

札幌市スポーツ少年団又は青少年を対象とする冬季スポーツ団体が実施する普及・育成事業を行う団体に対し助成を行った。(札幌ジュニアバイアスロンクラブ、月寒フィギュアスケートクラブ、ボルテックス札幌アイスホッケークラブほか)

(4) さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業 (12 事業 429 人)

2030 年冬季オリンピック・パラリンピックの札幌開催を見据え、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの輩出を目指したジュニア世代の発掘・育成事業を行った。

ア 発掘事業 (4 事業 330 人)

市内小学生を対象に、運動に対する適性テストやセレクションを行い、スポーツ戦略アドバイザー(阿部 雅司氏)を中心とした有識者により、将来有望な子どもたちを発掘プロジェクト生として 15 名を選出した。

(7) 8 月 29 日(日) サマージャンプ体験会(荒井山シャンツェ) 参加者数 8 人

(4) 12 月 4 日(土) スポーツ能力測定会(北ガスアリーナ札幌 46) 参加者数 270 人

(5) 10 月～3 月(全 3 回) モーグル選手発掘選考会(Jun Sport Club 月寒他) 参加者数 20 人(3 人選出)

(4) 3 月 5 日(土) 発掘プロジェクト選考会(北区体育館) 参加者 32 人(15 人選出)

イ 育成事業(8 事業 99 人)

冬季 5 種目・夏季 3 種目(99 人 スノーボード、スキージャンプ、カーリング、フリースタイルスキー、ノルディック・コンバインド、陸上、バドミントン、テニス)の競技団体と連携し、2030 年までの長期的な展望に立って、日常的な強化練習や国内合宿の支援を行い、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの育成を図った。

全育成種目による合同研修会

- (7) 9月29日(水)・30日(木) 栄養セミナー(オンライン)
- (4) 12月12日(日) トレーニング実践(豊平区体育館)
- (5) 2月20日(日) ハラスメント防止(オンライン/コーチ・保護者向け)

8 スポーツ少年団の普及及び育成に関する事業(18事業5,711人)

スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちの健全な心身の発育発達に資するために、札幌市スポーツ少年団を設置し、各種事業による普及と組織育成を行った(登録数237団3,767人)。

(1) 派遣事業(2事業 38人)

日本スポーツ少年団及び北海道スポーツ少年団が主催する少年大会、リーダースクール並びに全道及び全国種目別交流大会への派遣。

ア 第36回北海道スポーツ少年団剣道交流大会

開催日:令和3年11月20日(土)

会場:千歳市開基記念総合武道館

参加者:団体2チーム(10人)、個人男子2名、個人女子:2名

イ 第19回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会

開催日:令和3年11月20日(土)、21日(日)

会場:深川市総合体育館

参加者:団体男子1チーム(12人)、女子1チーム(12人)

※各種目とも全国大会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(2) リーダー育成事業(1事業 18人)

札幌市スポーツ少年団リーダー講習会・運動適性テストの開催

開催日:令和3年11月28日(日)

会場:札幌市中島体育センター

参加者数:18人

内容:講和「スポーツ少年団の組織と運営」「リーダーの責任と役割」
実技「運動適性テスト」

講師:講和…スポーツ少年団スタートコーチインストラクター 島本 俊男 氏
実技…スポーツ少年団体カテスト認定員 三浦 淳 氏

(3) 各種目交流大会(10種目14事業 5,634人)

軟式野球(1,640人)、サッカー(2事業1,367人)、ミニバスケットボール(1,743人)、
剣道(316人)、空手(143人)、バドミントン(2事業167人)、冬季スポーツ(3事業71人)、
バレーボール(69人)、ソフトテニス(56人)、綱引(62人)競技の交流大会を開催した。

(4) 指導者育成事業(1事業 21人)

指導者・母集団研修会の開催

開催日:令和4年2月20日(日)

会場:札幌市中島体育センター(ZOOMによるWEB配信)

参加者数:21人

内容:第1部 スポーツ安全保険について
第2部 ジュニア期における暴言、暴力、その他のハラスメントが子どもに及ぼす
影響、その危険性について

講師:第1部 公益財団法人スポーツ安全協会 北村 絵美 氏

第2部 日本体育大学 スポーツ文化学部 武道教育学科教授 南部さおり 氏

(5) 表彰(1事業 1人)

札幌市優良少年及び青少年育成者表彰

団体の部：1 団体、育成者の部：1 名表彰

9 さっぽろグローバルスポーツコミッション事務局事業（5 事業 1, 232 人）

さっぽろグローバルスポーツコミッションの事務局として、国際的及び全国的な規模で行われるスポーツ事業に関する協力及び支援を行った。

(1) 国際大会誘致・合宿誘致事業（2 事業 20 人）

ア 2022 ワールドパラノルディックスキージャパンカップ札幌大会への協力（西岡バイアスロン競技場）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

イ 女子アイスホッケー国際親善試合（月寒体育館）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

ウ 東京 2020 オリンピック（共生社会ホストタウン）

(7) ウクライナ男子ゴールボールチーム（手稲区体育館他）受入人数：10 人

(4) カナダ女子ゴールボールチーム（南区体育館他）受入人数：10 人

(2) スポーツツーリズム推進事業（1 事業 711 人）

ア ナイトクロカン in ホワイトイルミネーション（中島公園歩くスキーコース）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

イ 海外プロモーション

(7) 英米豪市場向けプロモーション（オンライン商談会、WEB サイト誘導広告）

(4) 中国、タイ市場向けプロモーション（オンラインセミナー・商談会、インフルエンサーによる情報発信）

(5) 欧州向けプロモーション（スキーメディアへの記事掲載）

ウ マラソンツーリズム推進事業

(7) ランニングマップ作成

(4) 札幌版ランナーズステーション「RUN BASE SAPPORO」設置（中島体育センター・札幌エクセルホテル東急）

エ スノーリゾート招請事業

(7) 札幌・ニセコ同一観光圏のためにモニターツアー及びイメージ浸透のためのプロモーション事業の運営業務

(4) 香港、豪州向けプロモーション「定山溪ステイ・札幌ニセコ周遊」（インフルエンサー招請・映像制作・純広告）

(5) アメリカ・タイ市場向け国内旅行事業者招請事業

(3) スポーツボランティアの派遣及び管理（2 事業 501 人）

スマイルサポーターズの登録管理と「小学校スキー学習支援事業」を実施し、57 校のスキー学習授業などのボランティアを派遣した。

ア スマイルサポーターズ登録管理 登録者数：1, 189 人

イ 小学校スキー学習支援事業

(7) 学校グラウンド（57 校：437 人）

(4) スキー場支援のモデル事業

(5) シットスキー支援のモデル事業

ウ 令和 3 年度スマイルサポーターズ研修会（2 月 28 日 参加人数：64 人）

10 障がい者スポーツの促進に関する事業（3 事業 87 人）

(1) 札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市のスポーツ行政推進への協力として、障がい者スポーツ普及促進における基本的な方向性と実現に向けた方策を協議する場である同協議会に参画した（6月・11月・3月開催）。

(2) 冬季障がい者スポーツ指導者養成及び体験事業／受託事業（1事業10人）

障がい者スポーツの中でも特に指導者が不足しているウインタースポーツに関して、養成講習会と指導の場となる体験会を開催した。

ア シットスキーサポーター講習会及び体験会（2月11・12日 中島公園）

イ バイスキー指導者養成講習会（12月18・19日 サッポロテイネ）及び体験会（2月23日 藤野野外スポーツ交流施設）

※「バイスキー指導者養成講習会」以外は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(3) 冬季障がい者スポーツ体験イベント／受託事業

月寒体育館・月寒屋外競技場・どうぎんカーリングスタジアム。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(4) パラスポーツ理解促進イベントの共催（1事業37人）

やってみよう楽しいスポーツ!ふれてみようおもしろいパラスポーツ!2022（10月24日 みなみの杜高等支援学校体育館）

(5) パラスポーツ出張事業（1事業40人）

「Let's パラスポ体験 in さっぽろ」でのボッチャ・車いすラグビー等体験コーナーの運営（11月3日 白石区体育館）

11 地域コミュニティ活性化事業（3事業 60人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携し「アツベツハンドメイド」や「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」など地域活性化の活動・イベントに運営参画した。（指定管理施設内：3事業 60人）

※「水上安全無料講習会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

12 スポーツ及び健康づくりに関する調査研究及び情報提供

(1) 加盟団体情報の収集・提供

各加盟団体のホームページへのリンクを当協会ホームページに集約し、それぞれのページに容易にアクセスできるように整理した。

(2) イベント・教室などの募集情報の提供

新聞折り込み広告、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツ及び国際交流に関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した（ふりっぱー、北海道ランニングガイドなど）。

(3) 協会ホームページにおける情報の提供

年齢や障がいの有無に関らず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティ方針を策定しホームページに公開するとともに、アクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠した。

また、コロナ禍での運動不足解消を目的に、自宅で出来る運動動画「運動不足の方へ健康エール」や子ども向けの運動動画「おうちで D0! スポ」をホームページで公開した。

(4) 科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査・分析・検証を行い、情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。

(5) お客様満足度の調査並びに情報の提供

施設利用の満足度調査を実施し、利用者の利用形態、利用頻度、運動器具や施設環境の状況等について集計・分析するとともに、各施設に「ご意見箱」を設置し、利用者の要望や意見等を収集し、サービスの向上や業務改善に活用した。

13 物品販売・貸付及び飲食店業

売店、自動販売機、コインロッカー、ドライヤー、レストラン、スポーツ用具貸出を実施した。

14 その他事業

(1) 関係団体との連携・協力事業

ア 北海道歩くスキー協議会の運営

北海道内の歩くスキー、クロスカントリースキー11大会が加盟する同協議会の事務局を担い、大会相互の連携と発展を図った。

イ スポーツボランティアの育成支援

協会ホームページにおいて道内のスポーツボランティア募集情報を随時掲載し、人材確保を支援した。また、スポーツイベントの活性化を図るため、NPO 法人日本スポーツボランティアネットワークに加盟した。

※「スポーツボランティア研修会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

ウ 「事業連携包括協定」の締結

北翔大学との「事業連携包括協定」により、大会の運営に学生が携わった。(1大会 16人)

また、協働事業として、北翔大学が運動プログラムの検証・分析を行う「運動あそび い・ろ・は」(6施設 337人)を実施した。

エ スポーツ指導者及び施設運営管理者の育成

一般社団法人幼少年体育指導士会との連携による「幼少年体育指導士認定講座」(9人参加うち対面講座2名オンデマンド講座1名、公開講座参加6名)を開催。健康・スポーツ施設の運営管理者及び指導者を育成した。

※「体育施設運営士養成講習会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

オ プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

(7) 北海道コンサドーレ札幌

a クラブパートナー契約の締結

b 北ガスアリーナ札幌 46 にてオフィシャルダンスドリルチーム「コンサドールズ」と協働で「チアダンス教室」を開催

(4) エスポラーダ北海道

a オフィシャルパートナー契約の締結

b 北ガスアリーナ札幌 46 にて女子フットサルスクールを協働開催、その他7施設でSSAフットサル教室を協働開催

(ウ) レバンガ北海道

a オフィシャルスポンサー契約の締結

b 北ガスアリーナ札幌 46、国際交流館にてレバンガ北海道バスケットボールアカデミーを協働開催

(I) 北海道日本ハムファイターズ

a 手稲区体育館、ファイターズベースボールアカデミー、北ガスアリーナ札幌 46 にてファイターズフィジカルアカデミーを協働開催

(オ) サフィールヴァ北海道

a オフィシャルパートナー契約の締結

カ 職員の派遣、役員就任など

「札幌市中学校体育連盟新人戦顧問」など、役員への就任による運営協力、「全道小学生女子ソフトボール大会」、「SAPPORO★ティネ・オータムトレイル」などのスポーツ大会の後援（98事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

(2) 社会貢献及び環境美化活動

ア 環境保全活動

植栽などの実施、環境教育へのクリック募金への協力（寄付金額 240,000 円）、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」への登録など、環境保全活動に積極的に協力した。

イ 地域防犯活動

地域における防犯・安全活動への協力として、31 施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども 110 番の店として防犯活動を推進した。

ウ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。

エ インターンシップなどの推進

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため受入中止。

オ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援B型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

カ サッポロスマイルパートナーズへの会員登録

「魅力都市さっぽろ」を広く発信し、「笑顔になれる街」の実現に向けて、札幌市のシティプロモート活動に協力した。

キ さぽーとほっと基金への寄付

各施設に設置の自動販売機売り上げに係る手数料収入の一部を「さぽーとほっと基金」に寄付し、自動販売機及び当協会ホームページにおいて周知をした。

ク 募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金に協力した（募金額：83,697 円）。

ケ 献血への協力

「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

15 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	2,249,773
学校施設の開放事業（講習会など含む）	640,823
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	18,296
合 計	2,908,892 (前年度 2,864,662)
増 減	44,230

(2) 収支

収 入 3,744,595,197 円

経 費 3,949,300,118 円

16 処務の概況

(1) 令和3年度末役員・評議員

役職	氏名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
会長	生島 典明	R2. 4. 1	R2. 4. 1	非常勤
理事長	青山 智則	R3. 4. 1	R3. 7. 6	常勤
常務理事	柴田 幸雄	R2. 6. 26	R3. 7. 6	常勤
常務理事	長澤 茂嗣	R2. 4. 1	R3. 7. 6	非常勤
理事	星 満	H25. 4. 1	R3. 6. 28	常勤
理事	川島 行雄	H27. 6. 26	R3. 6. 28	常勤
理事	前 淳一	R元. 6. 26	R3. 6. 28	常勤
理事	笹木 裕介	R3. 6. 28	R3. 6. 28	常勤
理事	沖 洋安	R元. 6. 26	R3. 6. 28	非常勤
理事	沖田 孝一	R元. 6. 26	R3. 6. 28	非常勤
理事	野坂 政司	R2. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
理事	佐藤 勝美	R2. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
理事	山崎 文子	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤
理事	川端 絵美	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤
監事	高間 亨	H30. 6. 27	R3. 6. 28	非常勤
監事	庄司 正史	R3. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	川初 清典	H25. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	晴山 紫恵子	H25. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	堀田 真理	H29. 6. 29	R3. 6. 28	非常勤
評議員	柳原 正明	H28. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	紺谷 好範	R2. 6. 26	R3. 6. 28	非常勤
評議員	田口 浩司	R2. 6. 26	R3. 6. 28	非常勤
評議員	平澤 光志	R2. 4. 1	R2. 4. 1	非常勤
評議員	阿部 雅司	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤
評議員	石川 義浩	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤
評議員	安岡 直美	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤

(2) 令和3年度末職員数

職種／性別	男性	女性	合計
正職員	115人	41人	156人
契約職員	56人	52人	108人
臨時職員	4人	5人	9人
パート職員	224人	373人	597人
合計	399人	471人	870人

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア 理事会

開催年月日	議事事項
第1回 令和3年4月1日	(1) 第1号議案 役職理事の互選について (2) 第2号議案 常勤役員報酬規程の改正について
第2回（書面開催） 令和3年6月11日	(1) 第1号議案 令和2年度事業報告について (2) 第2号議案 令和2年度決算及び監査報告について (3) 第3号議案 令和2年度公益目的支出計画実施報告について (4) 第4号議案 令和3年度スポーツ振興くじ助成金交付内定に伴う誓約書の提出について (5) 第5号議案 新役員候補者名簿の承認について (6) 第6号議案 諸規程の改正について (7) 第7号議案 定款の変更について (8) 第8号議案 令和3年度第1回評議員会（定時評議員会）の開催について
第3回（書面開催） 令和3年6月28日	(1) 第1号議案 役職理事の互選について (2) 第2号議案 諸規程の改正について (3) 第3号議案 令和3年度収支予算の変更について (4) 第4号議案 経営計画2030の策定について
第4回 令和3年7月6日	(1) 第1号議案 役職理事の互選について (2) 第2号議案 諸規程の改正について
第5回（書面開催） 令和3年10月12日	(1) 第1号議案 諸規定の改正について (2) 職務執行状況報告（理事長、常務理事）
第6回 令和4年3月24日	(1) 第1号議案 令和4年度事業計画について (2) 第2号議案 令和4年度収支予算について (3) 第3号議案 役員等賠償責任保険契約への加入と内容について (4) 第4号議案 職務限定職員就業規程の新設について (5) 第5号議案 諸規程の改正について (6) 第6号議案 理事の辞任に伴う新理事候補者名簿の承認について (7) 第7号議案 令和3年度第2回評議員会（みなし決議）の開催について (8) 職務執行状況報告（理事長、常務理事）

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
定時評議員会 （書面開催） 令和3年6月28日	(1) 令和2年度事業報告について (2) 令和2年度公益目的支出計画実施報告について (3) 新型コロナウイルス感染症の感染防止への対応状況について

	(4) 東京2020オリンピック・パラリンピックへの協力について (5) 第1号議案 令和2年度決算及び監査報告について (6) 第2号議案 定款の変更について (7) 第3号議案 評議員の選任について (8) 第4号議案 役員の選任について (9) 第5号議案 評議員及び役員の報酬並びに費用に関する規程の改正について
第2回(書面開催) 令和4年3月30日	(1) 第1号議案 理事の選任について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移 (単位：千円)

	平成29年 3月期	平成30年 3月期	平成31年 3月期	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期
経常収益	4,348,979	4,371,925	4,237,526	4,281,698	3,601,812	3,744,595
経常費用	4,104,954	4,275,598	4,195,775	4,316,136	3,742,355	3,949,300
当期経常増減額	244,025	96,327	41,751	△34,438	△140,543	△204,705
経常外収益	-	-	-	93,483	165,566	254,205
経常外費用	-	1,517	205	-	-	-
法人税等	77,484	12,497	19,887	29,012	520	41,169
当期一般正味財産増減額	166,541	82,313	21,659	30,033	△24,504	8,331
期首一般正味財産額	1,191,801	1,358,342	1,440,655	1,462,314	1,492,347	1,516,851
期末一般正味財産額	1,358,342	1,440,655	1,462,314	1,492,347	1,516,851	1,525,182
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	52,000	△13,000
期首指定正味財産額	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	72,000
期末指定正味財産額	20,000	20,000	20,000	20,000	72,000	59,000
期末正味財産額	1,378,342	1,460,655	1,482,314	1,512,347	1,588,851	1,584,182
資産合計	3,003,222	3,053,332	2,994,717	2,969,520	2,872,565	3,008,356
負債合計	1,624,880	1,592,677	1,512,403	1,457,173	1,283,714	1,424,174
正味財産	1,378,342	1,460,655	1,482,314	1,512,347	1,588,851	1,584,182

(5) 公認会計士の関与の有無

会計事務所との監査契約に基づき、年3回の監査と指導・相談を受けている。

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	863,380,525	580,061,904	283,318,621
売掛金	16,250	-	16,250
商品	1,215,388	1,704,653	△ 489,265
貯蔵品	15,910,080	19,856,480	△ 3,946,400
未収金	697,255,693	822,089,906	△ 124,834,213
立替金	1,292,396	982,765	309,631
預け金	5,655,220	-	5,655,220
前払費用	5,169,126	9,062,271	△ 3,893,145
流動資産合計	1,589,894,678	1,433,757,979	156,136,699
2 固定資産			
(1) 基本財産			
決済用預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	607,931,460	617,504,360	△ 9,572,900
什器備品購入積立資産	65,000,000	65,000,000	0
減価償却引当資産	223,200,000	214,700,000	8,500,000
事務所移転費用積立資産	10,000,000	10,000,000	0
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	355,000,000	0
健康スポーツ推進資産	17,800,000	17,800,000	0
競技スポーツ普及促進積立資産	72,419,248	85,419,248	△ 13,000,000
特定資産合計	1,351,350,708	1,365,423,608	△ 14,072,900
(3) その他固定資産			
建 物	5,346,827	4,532,658	814,169
車両運搬具	307,960	462,395	△ 154,435
什器備品	18,555,476	21,357,751	△ 2,802,275
ソフトウェア	14,251,776	15,417,252	△ 1,165,476
リース資産	8,125,892	11,090,070	△ 2,964,178
電話加入権	456,859	456,859	0
リサイクル預託金	66,210	66,210	0
その他固定資産合計	47,111,000	53,383,195	△ 6,272,195
固定資産合計	1,418,461,708	1,438,806,803	△ 20,345,095
資産合計	3,008,356,386	2,872,564,782	135,791,604
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	840,956	769,064	71,892
未払金	432,968,802	267,918,881	165,049,921
未払法人税等	41,169,400	520,000	40,649,400
未払消費税等	31,354,300	16,875,000	14,479,300
未払費用	155,333,004	154,488,569	844,435
前受金	46,462,530	121,019,140	△ 74,556,610
預り金	9,207,328	9,387,838	△ 180,510
リース債務	2,932,693	3,250,821	△ 318,128
賞与引当金	89,764,794	82,838,578	6,926,216
流動負債合計	810,033,807	657,067,891	152,965,916
2 固定負債			
リース債務	6,208,925	9,141,618	△ 2,932,693
退職給付引当金	607,931,460	617,504,360	△ 9,572,900
固定負債合計	614,140,385	626,645,978	△ 12,505,593
負債合計	1,424,174,192	1,283,713,869	140,460,323
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
出捐金	20,000,000	20,000,000	0
寄付金	39,000,000	52,000,000	△ 13,000,000
指定正味財産合計	59,000,000	72,000,000	△ 13,000,000
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(39,000,000)	(52,000,000)	△ 13,000,000
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(704,419,248)	(695,919,248)	8,500,000
正味財産合計	1,584,182,194	1,588,850,913	△ 4,668,719
負債及び正味財産合計	3,008,356,386	2,872,564,782	135,791,604

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	327,252	354,994	△ 27,742
② 事業収益			
参加料収益	8,980,275	8,708,672	271,603
協賛金収益	7,800,912	9,655,463	△ 1,854,551
広告料収益	-	25,000	△ 25,000
受講料収益	308,635,430	279,448,715	29,186,715
委託料収益	271,290,495	262,382,855	8,907,640
利用料収益	654,679,606	474,009,367	180,670,239
指定管理費用収益	2,320,784,417	2,357,072,362	△ 36,287,945
測定料収益	1,736,462	2,061,484	△ 325,022
健診料収益	2,305,998	2,314,936	△ 8,938
指導員派遣収益	210,094	119,820	90,274
売上収益	20,005,199	20,763,678	△ 758,479
登録料収益	1,257,005	1,394,732	△ 137,727
その他収益	3,571,485	5,259,722	△ 1,688,237
③ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	100,948,053	81,960,144	18,987,909
受取民間補助金	2,618,182	687,300	1,930,882
④ 受取負担金			
受取負担金	22,907,575	30,150,421	△ 7,242,846
⑤ 受取寄付金			
受取寄付金	-	39,322,185	△ 39,322,185
受取寄付金振替額	13,000,000	8,000,000	5,000,000
⑥ 雑収益			
雑収益	3,536,757	18,120,415	△ 14,583,658
経常収益計	3,744,595,197	3,601,812,265	142,782,932
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	11,253,000	13,950,000	△ 2,697,000
給料手当	1,140,802,489	1,154,566,449	△ 13,763,960
退職給付費用	49,895,172	26,697,355	23,197,817
臨時雇賃金	464,581,742	453,500,996	11,080,746
法定福利費	194,127,176	194,395,325	△ 268,149
福利厚生費	18,571,709	20,469,425	△ 1,897,716
仕入高	4,966,782	5,191,880	△ 225,098
報酬	162,648,935	169,439,043	△ 6,790,108
教育研修費	2,512,247	2,504,678	7,569
報償費	8,182,527	12,463,683	△ 4,281,156
会議費	5,114	38,419	△ 33,305
接待交際費	16,466	27,728	△ 11,262
旅費交通費	1,743,319	4,295,330	△ 2,552,011
通信運搬費	16,128,829	18,450,824	△ 2,321,995
減価償却費	20,342,318	24,778,992	△ 4,436,674
消耗什器備品費	22,252,150	4,312,785	17,939,365
消耗品費	79,230,850	110,355,619	△ 31,124,769
修繕費	38,973,049	42,259,456	△ 3,286,407
印刷製本費	4,330,676	6,647,158	△ 2,316,482
燃料費	3,660,634	3,027,986	632,648
光熱水費	745,669,260	635,128,776	110,540,484
賃借料	21,687,222	23,491,276	△ 1,804,054

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
保険料	9,849,656	10,545,206	△ 695,550
諸謝金	11,611,530	10,724,809	886,721
広告宣伝費	5,760,421	9,444,016	△ 3,683,595
租税公課	14,966,745	1,247,097	13,719,648
支払負担金	8,727,699	5,377,877	3,349,822
支払寄付金	36,467,293	14,106,340	22,360,953
委託費	699,222,949	635,365,857	63,857,092
支払利息	169,587	244,311	△ 74,724
支払助成金	34,062,427	15,026,225	19,036,202
支払手数料	4,521,627	-	4,521,627
雑費	848,804	6,413,421	△ 5,564,617
② 管理費			
役員報酬	11,253,000	13,950,000	△ 2,697,000
給料手当	68,691,554	60,725,740	7,965,814
退職給付費用	3,195,848	1,448,695	1,747,153
法定福利費	14,576,801	12,285,113	2,291,688
福利厚生費	924,832	761,346	163,486
報酬	521,000	566,000	△ 45,000
会議費	4,528	18,745	△ 14,217
接待交際費	2,000	10,000	△ 8,000
旅費交通費	17,884	98,335	△ 80,451
通信運搬費	129,280	147,909	△ 18,629
消耗品費	496,733	1,239,129	△ 742,396
修繕費	337,250	4,210,145	△ 3,872,895
印刷製本費	437,822	508,638	△ 70,816
賃借料	-	244,180	△ 244,180
保険料	820,250	809,060	11,190
諸謝金	6,154,250	6,154,114	136
広告宣伝費	1,653,701	1,282,272	371,429
租税公課	363,661	114,534	249,127
支払負担金	512,214	2,183,390	△ 1,671,176
委託費	448,000	1,023,636	△ 575,636
支払手数料	42,406	-	42,406
雑費	926,700	85,777	840,923
経常費用計	3,949,300,118	3,742,355,100	206,945,018
当期経常増減額	△ 204,704,921	△ 140,542,835	△ 64,162,086
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取助成金	254,205,603	165,566,486	88,639,117
経常外収益計	254,205,603	165,566,486	88,639,117
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	-	1
経常外費用計	1	-	1
当期経常外増減額	254,205,602	165,566,486	88,639,116
税引前当期一般正味財産増減額	49,500,681	25,023,651	24,477,030
法人税、住民税及び事業税	41,169,400	520,000	40,649,400
当期一般正味財産増減額	8,331,281	24,503,651	△ 16,172,370
一般正味財産期首残高	1,516,850,913	1,492,347,262	24,503,651
一般正味財産期末残高	1,525,182,194	1,516,850,913	8,331,281
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	-	60,000,000	△ 60,000,000
一般正味財産への振替額	△ 13,000,000	△ 8,000,000	△ 5,000,000
当期指定正味財産増減額	△ 13,000,000	52,000,000	△ 65,000,000
指定正味財産期首残高	72,000,000	20,000,000	52,000,000
指定正味財産期末残高	59,000,000	72,000,000	△ 13,000,000
III 正味財産期末残高	1,584,182,194	1,588,850,913	△ 4,668,719

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券

償却原価法を採用している。ただし、取得価額と券面額との差額について重要性の乏しいものについては、取得価額により評価している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定）を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用している。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備については、定額法によっている。

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建 物	7 ～ 35年
車 両 運 搬 具	3 ～ 5年
什 器 備 品	2 ～ 20年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用している。なお、財団法人利用のソフトウェアについては、協会内における利用可能期間(5年)に基づいている。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金 … 従業員の職員賞与に備えるため、当事業年度に帰属する支給見込額について計上している。

退職給付引当金 … 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

(6) 税効果会計の適用について

税引前の当期一般正味財産増減額と法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な当期正味財産増減額を計上することを目的として税効果会計を適用している。

2. 会計方針の変更

該当事項なし

3. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
決済用預金	20,000,000			20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	617,504,360	45,636,000	55,208,900	607,931,460
什器備品購入積立資産	65,000,000	0	0	65,000,000
減価償却引当資産	214,700,000	8,500,000	0	223,200,000
事務所移転費用積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000

次頁に続く

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	0	0	355,000,000
健康スポーツ推進資産	17,800,000	0	0	17,800,000
競技スポーツ普及促進積立資産	85,419,248	0	13,000,000	72,419,248
小 計	1,365,423,608	54,136,000	68,208,900	1,351,350,708
合 計	1,385,423,608	54,136,000	68,208,900	1,371,350,708

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
決済用預金	20,000,000	20,000,000	0	0
小 計	20,000,000	20,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	607,931,460	0	0	607,931,460
什器備品購入積立資産	65,000,000	0	65,000,000	0
減価償却引当資産	223,200,000	0	214,700,000	0
事務所移転費用積立資産	10,000,000	0	10,000,000	0
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	0	355,000,000	0
健康スポーツ推進資産	17,800,000	0	17,800,000	0
競技スポーツ普及促進積立資産	72,419,248	39,000,000	33,419,248	0
小 計	1,351,350,708	39,000,000	695,919,248	607,931,460
合 計	1,371,350,708	59,000,000	695,919,248	607,931,460

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	11,618,205	6,271,378	5,346,827
車両運搬具	33,634,029	33,326,069	307,960
什器備品	187,795,216	169,239,740	18,555,476
ソフトウェア	131,616,071	117,364,295	14,251,776
リース資産	130,974,782	122,848,890	8,125,892
合 計	495,638,303	449,050,372	46,587,931

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

なし

8. 保証債務等の偶発債務

なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評 価 損 益
退職給付引当 投資有価証券			
(利付国債10年第335回)	49,999,595	50,661,600	662,005
(札幌市公募公債h29-2)	100,000,000	100,000,000	0
(北海道債5年h29-6)	100,000,000	100,000,000	0
(札幌市公募公債r1-8)	100,000,000	99,880,800	△ 119,200
(札幌市公募公債r1-8)	100,000,000	99,880,000	△ 120,000
(NOMURA EUROPE FINACE N.V)	50,000,000	46,195,000	△ 3,805,000

次頁に続く

科 目	帳簿価額	時 価	評 価 損 益
減価償却引当 投資有価証券 (札幌市公募公債h30-3)	50,000,000	50,015,000	15,000
指定管理対策費用積立 投資有価証券 (札幌市公募公債h29-2)	100,000,000	100,010,000	10,000
(札幌市公募公債h30-3)	50,000,000	50,012,100	12,100
(札幌市公募公債h30-3)	50,000,000	50,015,000	15,000
合 計	749,999,595	746,669,500	△ 3,330,095

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
札幌マラソン 2021 ONLINE CHALLENGE	札幌市	0	8,623,526	8,623,526	0	
第42回札幌国際スキーマラソン大会	"	0	6,277,608	6,277,608	0	
第44回北海道を歩こう	"	0	810,000	810,000	0	
第62回札幌市民スポーツ大会 事業	"	0	8,225,895	8,225,895	0	
令和3年度競技力育成強化・普及促進事業	"	0	11,163,302	11,163,302	0	
令和3年度さっぽろアスリートサポート事業	"	0	10,977,000	10,977,000	0	
令和3年度札幌市スポーツ少年団運営事業	"	0	600,000	600,000	0	
令和3年度さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業	"	0	13,000,000	13,000,000	0	
さっぽろグローバルスポーツコミッション運営費	"	0	27,509,513	27,509,513	0	
スポーツ大会における新型コロナウイルス感染症対策支援金	"	0	4,622,575	4,622,575	0	
東京2020大会関連事業(地域スポーツコミッション事業)	"	0	7,807,274	7,807,274	0	
小学校スキー学習支援事業(地域スポーツコミッション事業)	"	0	1,331,360	1,331,360	0	
令和2年度観光振興事業(国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業)	観光庁	0	1,818,182	1,818,182	0	
令和3年度地方体育・スポーツ協会連絡協議会助成金	公益財団法人 北海道スポーツ協会	0	50,000	50,000	0	
令和3年度北海道スポーツ少年団組織整備強化事業助成金	公益財団法人北海道 スポーツ協会 北海道 スポーツ少年団	0	750,000	750,000	0	
合 計		0	103,566,235	103,566,235	0	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内容
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	13,000,000
目的達成による指定解除額	
合 計	13,000,000

12. 関連当事者との取引の内容

(単位:円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	決議権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員 の 兼務等	事実上の関係				
当該法人を支配する法人	札幌市	札幌市中央区北1条西2丁目	-	地方公共団体	-	-	出資団体	施設管理運営に係る指定管理料等	2,320,784,417	未収金	621,778,887
								事業補助金	100,948,053	-	-
								学校開放事業、運動・健診事業委託料等	249,062,663	未収金	8,159,953

次頁に続く

13. 重要な後発事象
なし

14. その他

(1) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

各施設における券売機及び複合機等である。

(2) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務に関する事項(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

①退職給付債務	607,931,460
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金(①+②)	607,931,460

③ 退職給付費用に関する事項(自:令和3年4月1日 至:令和4年3月31日)

(単位:円)

①勤務費用	53,091,020
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付費用(①+②)	53,091,020

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として、計算している。

⑤ 会計基準変更時差異の処理年数 1年

⑥ 過去勤務債務の額の処理年数 1年

(3) 税効果会計関係

① 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位:円)

繰延資産損金算入限度超過額	9,255,657
未払事業所税否認	4,761,230
未払事業税否認	2,245,824
賞与引当金	25,624,932
一括償却資産	5,538,973
退職給付引当金繰入金超過額	110,659,755
繰延税金資産計	158,086,371
評価性引当額	△ 158,086,371
繰延税金資産 合計	0

② 法人税法上の非収益事業と収益事業の区分

(単位:円)

	非収益事業	収益事業	合計
税引前当期一般正味財産増減額 (A)	△ 41,514,967	91,015,648	49,500,681
寄付金損金算入限度額 (B)	0	0	0
小計 (C) = (A)+(B)	△ 41,514,967	91,015,648	49,500,681
法人税、住民税及び事業税 (D)	0	41,169,400	41,169,400
法人税等調整額 (E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (A) - (D) - (E)	△ 41,514,967	49,846,248	8,331,281

③ 法人税法上の収益事業に係る法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

項目	率
法定実効税率	34.22%
(調整)	
寄付金等永久に損金に算入されない項目	-4.89%
住民税均等割	0.57%
事業税差額	-1.03%
欠損金相当額	-6.13%
評価性引当額	23.52%
その他	-1.02%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	45.23%

(注) 法定実効税率は、みなし寄付金を考慮していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	82,838,578	89,764,794	82,838,578	0	89,764,794
退職給付引当金	617,504,360	45,636,000	55,208,900	0	607,931,460

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	26,333,428
預金	決済用預金	運転資金として	
	(株)北海道銀行行啓通支店	"	811,671,268
	(株)北洋銀行東屯田支店	"	25,365,829
	(株)ゆうちょ銀行小樽貯金事務センター	"	10,000
売掛金		売店商品の売買代金	16,250
商品		売店販売用として	1,215,388
貯蔵品		事業で使用する物品在庫	15,910,080
未収金		施設利用料金等	697,255,693
立替金		職員の雇用保険等	1,292,396
仮払金		現金回収業務委託における預け金	5,655,220
前払費用		保険料の前払い等	5,169,126
流動資産合計			1,589,894,678
(固定資産)			
基本財産	預金	法人会計保有財産	20,000,000
特定資産	退職給付引当資産	職員の退職金支払いに備えたもの	
	(株)北海道銀行行啓通支店		107,931,865
	投資有価証券		
	利付国債10年第335回		49,999,595
	札幌市公募公債h29-2		100,000,000
	北海道債h29-6		100,000,000
	札幌市公募公債r1-8		100,000,000
	札幌市公募公債r1-8		100,000,000
	NOMURA EUROPE FINACE N.V		50,000,000
	什器備品購入	備品の購入に備えたもの	
	積立資産		65,000,000
	減価償却引当資産	減価償却引当に備えたもの	
	(株)北海道銀行行啓通支店		173,200,000
	投資有価証券	減価償却引当に備えたもの	
	札幌市公募公債h30-3		50,000,000
	事務所移転費用	事務局移転に備えたもの	
	積立資産		10,000,000
	指定管理対策費用	指定管理者制度への対策費用	
	積立資産		155,000,000
	投資有価証券	指定管理者制度への対策費用	
	札幌市公募公債h29-2		100,000,000
	札幌市公募公債h30-3		50,000,000
	札幌市公募公債h30-3		50,000,000

(単位:円)

貸借対照表		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定 資産	健康スポーツ推進 積立資産	決済用預金 (株)北洋銀行東屯田支店	健康スポーツ事業実施に充てるための資産	17,800,000
	競技スポーツ普及 促進積立資産	決済用預金 (株)北海道銀行行啓通支店		72,419,248
	建物	車庫等	保有車両等保管用として	5,346,827
	車両運搬具	トラック等業務用車両	健康スポーツ事業等にて使用するため	307,960
	什器備品	トレーニング器具等	健康スポーツ事業等にて使用するため	18,555,476
	ソフトウェア	会計システム等		14,251,776
	リース資産	複合機等	健康スポーツ事業等にて使用するため	8,125,892
	電話加入権			456,859
	リサイクル預託金			66,210
固定資産合計				1,418,461,708
資産合計				3,008,356,386
(流動負債)				
	買掛金		売店商品の仕入未払分	840,956
	未払金		その他会計等の経費他の未払分	432,968,802
	未払法人税等		法人税等の未払分	41,169,400
	未払消費税等		消費税の未払分	31,354,300
	未払費用		職員等の給与未払分	155,333,004
	前受金		健康スポーツ事業参受講料等の前受分	46,462,530
	預り金		源泉所得税等の預り分	9,207,328
	リース債務		複合機等のリース物品に係る債務	2,932,693
	賞与引当金		職員に対する賞与支払いに備えたもの	89,764,794
流動負債合計				810,033,807
(固定負債)				
	リース債務		複合機等のリース物品に係る債務	6,208,925
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金支払いに備えたもの	607,931,460
固定負債合計				614,140,385
負債合計				1,424,174,192
正味財産				1,584,182,194